

ともにいきる

未来につなぐ みんなでつくる「健康しが2.0」

令和6年度 滋賀県予算案 および組織改編案

令和6年度 当初予算案作成にあたって

最近の社会情勢

- ・ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やパレスチナ問題など**世界情勢の緊迫化**
- ・新型コロナウイルス5類感染症への移行により、**社会経済活動の再開**
- ・**物価高騰、円安**の影響長期化
- ・夏の酷暑など**異常気象**。気候変動問題の深刻化。令和6年能登半島**地震**
- ・「こども家庭庁」発足。**子どもまんなか社会**への機運の高まり
- ・教育費負担軽減の動きや**子どもの学び、居場所**の議論が注目

世界で起きる出来事が対岸の火事ではないこと、世界とのつながりを誰もが実感する状況が続く



北の近江振興
プロジェクト

県政では



・様々なプロジェクトが動き出す

子ども政策推進本部、県北部地域の振興、安土城、彦根城、医療福祉拠点、新・琵琶湖文化館公園（THEシガパーク）、高専、交通ビジョン県民参画の取組、県史編さん会議など

・国スポ・障スポ、大阪・関西万博など**大型イベント**を控え準備

そして「水」への注目の高まり

映画「翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～」
琵琶湖の水位低下、水難事故、世界湖沼会議など

令和6年度 当初予算案作成にあたって

令和6年度はどういう年か

依然、見通せない状況
一方で前向きな兆しも

- ・引き続き **不安定な世界情勢**
- ・本格的な **社会経済活動**の再開
- ・ **インバウンド需要**の増加、パリオリンピック開催
- ・ **気候変動**の影響や、いつ起こるかわからない **災害**に対する一層の **危機感**
- ・ **物流・建設業・医師残業規制**など **2024年問題**、人材不足の深刻化
- ・国と地方が議論をしながら **子ども政策**を具体化
- ・ **教育のあり方**の議論が活発化

滋賀県では

- ・ 2030年の目指す姿を描いた「**滋賀県基本構想**」折り返しの年
- ・ 「(仮称) **滋賀県子ども基本条例**」の策定や、**中小企業活性化**にかかる **条例**の見直し
- ・ 北陸新幹線 **敦賀駅開業**、大河ドラマ「**光る君へ**」などの好機
- ・ **国スポ・障スポ**、**大阪・関西万博**まで1年
- ・ 琵琶湖の水位低下から始まった新年、「**水**」への思い



琵琶湖の水位低下の状態



そして元日に発生した「令和6年能登半島地震」



発災直後から、中部圏ブロックや関西広域連合の枠組みをはじめ、県・市町等の連携により継続的に支援にあたっている

被災地の1日も早い復興に向けて、引き続き力を尽くすとともに
今後の地域防災や災害対応に生かし、安全・安心な社会づくりにつなげていく

令和6年度 当初予算案に込める思い

変化に対応しながら、ともに生きる、すこやかに生きる

子どもをまんなかにした安心安全な社会、様々な好機を捉えた持続可能な社会経済
土台となる自然環境を守り生かす、大型イベントに向けた準備とレガシー創出 など

シン・ジダイ
ともに

悩みや苦しみに直面しても、みんなでチカラを合わせて生きる

水とともに

「水」の恵み（災い）に心を寄せて生きる

世界とともに

世界の動向に目を向けながら、明日も生きる

ともに明日を



次の時代の県政の“軸”を持つために
世界の潮流も踏まえ、豊かさや幸せを研究

令和6年度 当初予算案に込める思い

今をともに生き、未来をともに描くためにすべきこと、できることを

ともにいきる

未来につなぐ みんなでつくる

健康しが2.0



令和6年度 重点的に取り組む施策

施策の柱

柱① 子ども・子ども・子ども

柱② ひとづくり

柱③ 安全・安心の社会基盤と健康づくり

柱④ 持続可能な社会・経済づくり

柱⑤ 自然環境や生物多様性の保全・再生

集中的な取組

県北部地域の振興

大阪・関西万博やわたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催への
着実な取組の推進とレガシーの創出

十 水への思いあらたに

当初予算案の規模

	令和6年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	対前年度当初予算比	
			金額	比率
一般会計	6,145億円	6,583億円	▲ 438億円	▲ 6.6%
通常分	6,145億円	5,934億円	+ 211億円	+ 3.6%
新型コロナウイルス 感染症対策分	—	648億円	▲ 648億円	皆減
特別会計	2,351億円	2,463億円	▲ 112億円	▲ 4.5%
企業会計	1,510億円	1,502億円	+ 8億円	+ 0.5%

【通常分の主な増加要因(対当初予算比・一般会計・歳出)】

- 子どもの医療費助成の高校生世代への拡充 + 4億円
- 国スポ・障スポ大会に向けた取組の推進、インフラ整備 + 34億円
- 2025年大阪・関西万博に向けた取組の推進 + 5億円
- 主な施設整備による増(近江学園、びわ湖ホール) + 56億円

県税・地方交付税等の特徴

	予算額	対前年度当初予算比		背景
		金額	比率	
県税(総額)	1,793億円	▲65億円	▲3.5%	
個人県民税	557億円	▲33億円	▲5.6%	・個人住民税の定額減税の影響等により減収が見込まれる
法人二税	560億円	▲33億円	▲5.5%	・世界経済減速による製造業の需要減の影響等により減収が見込まれる
地方消費税	256億円	▲4億円	▲1.5%	・消費活動等の状況から、ほぼ同程度と見込まれる
軽油引取税	128億円	▲2億円	▲1.4%	・軽油需要の見通しから減収が見込まれる
自動車税	204億円	+4億円	+2.1%	・半導体不足解消による販売台数の増加等により増収が見込まれる
その他	88億円	+2億円	+2.5%	・不動産売買の増加に伴う不動産取得税の増収等
(参考) 地方消費税(清算後)	671億円	▲3億円	▲0.5%	・消費活動等の状況から、ほぼ同程度と見込まれる
地方特例交付金	49億円	+38億円	+345.9%	・個人県民税の減収への対応による増収
地方交付税等	1,340億円	-	0.0%	
地方交付税	1,320億円	+40億円	+3.1%	・地方財政計画における臨時財政対策債の発行総額減少等
臨時財政対策債	20億円	▲40億円	▲66.7%	

※1 地方消費税(清算後)は、国から払い込まれた地方消費税額を最終消費地に帰属させるために都道府県間で清算した後の額です。

※2 四捨五入により、総額と内訳が一致しない箇所があります。

財源不足とその対応状況

財源不足 の状況

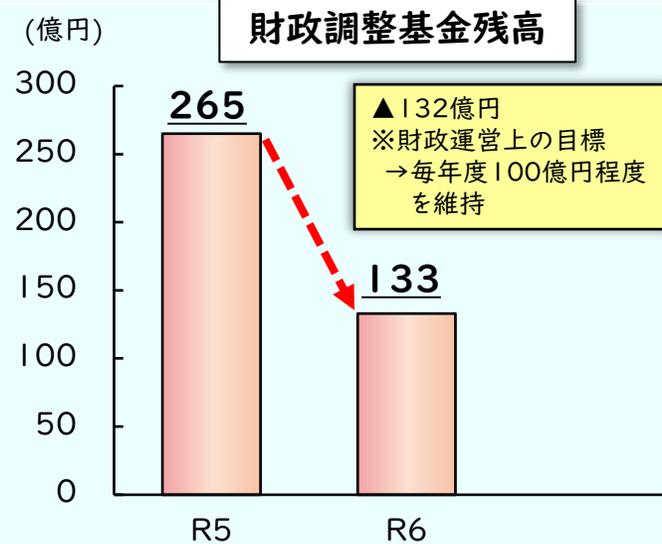
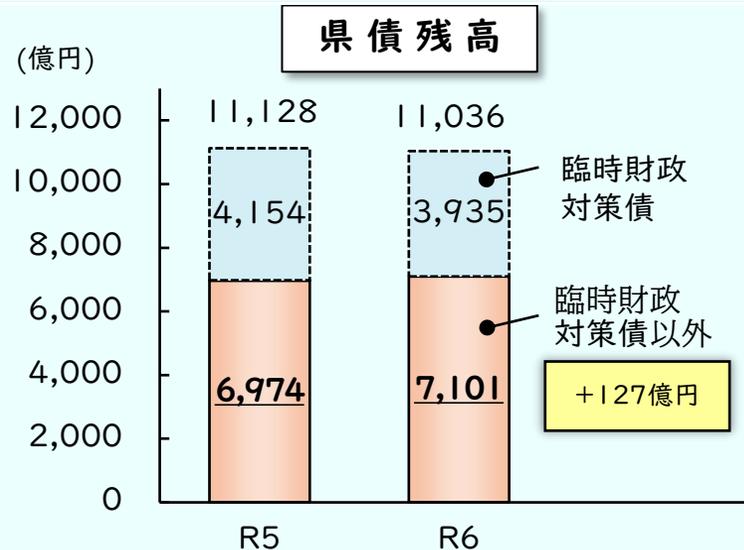
174億円 (R5当初) → 182億円 (R6当初案) に増加

- ・ 財源不足額は、高い水準で推移しており、令和7年度以降も、恒常的に多額の財源不足が見込まれる状況
- ・ 一方、財政調整基金は、令和6年度末残高が133億円と大幅に減少する見込みであることから、引き続き歳入・歳出両面から収支改善に不断に取り組む

財源不足への対応 (億円)

		R5	R6	差引
基金	財政調整基金	34	132	+98
	県債管理基金	100	-	▲100
県債	行政改革推進債	40	50	+10
合計		174	182	+8

県債残高と 財政調整基金 の状況





重点的に取り組む施策

地震防災力の強化

元日に能登半島地震が発生。被災地の1日も早い復興に向けて、引き続き力を尽くすとともに南海トラフ地震等への備えも含めた地震防災や災害対応に生かし、安全・安心な社会づくりにつながる

被災時の課題を想定した取組の強化

▶ 道路の寸断や集落の孤立を想定した対応

新 道路啓開計画の策定と実動訓練

- ・ 緊急輸送道路の橋梁耐震補強、無電柱化

災害時の救援ルート確保に向けた取組



新 災害時の湖上輸送検討

陸路が寸断された場合の代替輸送手段の検討

▶ ライフラインの確保・避難生活環境改善



・ 避難生活の環境改善

- ④ トイレトレーラーの整備、女性や高齢者など様々な避難者に配慮した備蓄物資の確保

・ ライフライン関係事業者の連携強化

▶ 防災意識向上・要支援者の避難支援

新 地震防災マインドアップ事業

防災意識の調査や効果的な啓発

新 県内住宅の耐震化啓発

- ・ 停電に備えた医療的ケア児のための電源確保

県立特別支援学校に停電時でも使えるポータブル発電機等を追加整備

広域的な枠組み等で迅速に支援し合える体制強化も!

関西広域連合では、カウンターパート方式で被災地を支援。職員の派遣、避難生活の受入れ等。

災害時に即応できる体制づくりのために、平時からの一層の連携を。



▶ 県の災害対応能力の強化

新 地方合同庁舎の非常用電源設備の強化・消防学校の改修

- ・ 防災情報プラットフォームの整備
- ・ 総合防災訓練、職員の人材育成、広域応援の受入体制の強化
- ・ 警ら用自動車、充電設備の整備

「水」のつながり

「翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～」や琵琶湖の水位低下などで「水」に注目が集まる。
また、災害時にも命を守る「水」の大切さを痛感。
琵琶湖を預かる滋賀県として、あらためて「水」に思いを寄せ、

「水」のつながりを意識して施策を展開する年に

MLGsの発信

大津港の活性化

水中遺跡魅力発掘・発信

高時川濁水対策

河川改修などの防災対策

湖のつながり、友好州省との交流推進

世界湖沼デー制定等に向けた戦略的な発信

THE シガパーク

シガリズム

儲かる琵琶湖漁業の実現

「きらみずき」ブランド化推進

琵琶湖システムを次世代につなぎ、活かす

水環境分野における国際協力



柱① 子ども・子ども・子ども

- 社会全体で子どもの健やかな育ちや子育てを支える環境をつくる。
- 子どもたちがいかなる環境、家庭状況にあっても、自分らしく、健やかに、安心して育つことができ、大切に育まれ、笑顔で暮らせる社会の実現に取り組む。
- 県と市町が車の両輪となり、切れ目なく子ども・子育て支援を充実させる。



取組

子どもとともにつくる子どもまなか社会

困難な環境にある子ども・若者の支援

安心・安全な子育て環境のさらなる充実

子どもの健やかな学びと育ちを支える

社会全体で子育てを応援



県庁全体での「子ども・子ども・子ども」の取組

子ども・若者基金等を活用し、県庁全体で子ども施策に集中的に取り組む

【予算額 2.2億円】

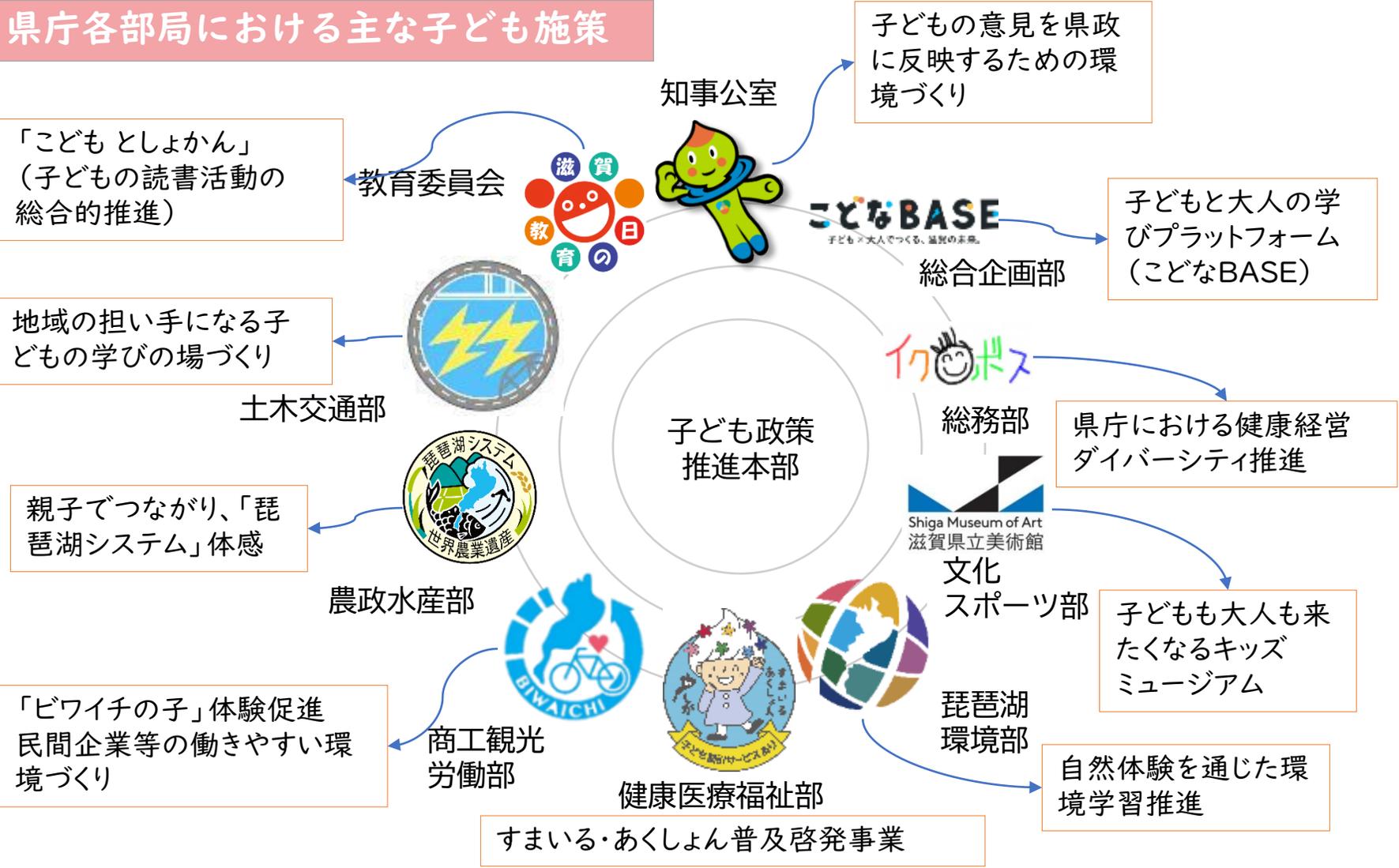
子ども・若者基金の活用

- ・ R4年度に設置した基金で子ども施策を集中的に実施

部局	件数	基金活用額(千円)
総合企画部	2	15,500
文化スポーツ部	4	18,519
琵琶湖環境部	2	8,220
健康医療福祉部	22	86,113
商工観光労働部	4	6,988
農政水産部	1	4,997
土木交通部	6	7,529
教育委員会事務局	18	74,917
合計	59	222,783

健康医療福祉部
子ども・青少年局 (内3565)

県庁各部局における主な子ども施策



子どもとともにつくる子どもまなか社会



子どもの意見を尊重し、子どもたちが様々な活動に主体的に参画できる社会づくりを進める

【予算額 1.4千万円】

子どもが意見を述べる

子ども県民の声ひろば等の子どもの意見を聴く取組

- 子ども版「知事への手紙」
- 児童養護施設等の
子どもの権利擁護事業



子どもの権利を守る仕組みをつくる

① (仮称) 滋賀県子ども基本条例の策定と普及啓発

- 子どもの意見の尊重や子どもの社会参画が社会全体で進められるよう、子どもの権利を含めた条例の普及啓発・気運醸成を行う

子どもが県政に参画する

子どもの意見を聴き、県政に反映する取組

- ① 若者ネットワークキャンプ
- 子ども若者審議会
 - 子ども県議会



県庁が変わる！

子ども真ん中社会の実現



知事公室 広報課 (内3046)
健康医療福祉部
子ども・青少年局 (内3565)

安心・安全な子育て環境のさらなる充実

子どもを安心して産み育て、子どもの健やかな育ちを支える社会をつくる

【予算額 23.3億円】

妊娠期

誕生

乳幼児期

学齢期

新 子ども・子育て施策推進交付金の創設

市町の施策の充実を目的として
交付金を創設

県と市町の連携で
取組を充実！

子どもの健やかな育ちを支える

新

子どもの医療費助成の高校生世代への拡充



子どもを安心して産み育てる



周産期医療体制の確保

新 新生児マススクリーニング検査に
関する実証事業

子どもの安全確保に向けた取組

- ・ 保育士、放課後児童支援員や児童養護施設等職員の人材確保
- ・ 保育所等や放課後児童クラブへのよりよい保育や安全確保の研修や巡回支援

新 不安・悩みを抱える家庭支援事業

リトルベビー・多胎児を抱える家族や流産・死産を経験した家族・不妊に悩む家族等への支援の実施

新 プレコンセプションケアの推進

自らの健康を守るために、次世代の子どもたちが
性や妊娠に関する正しい知識を身につけるための教育の実施

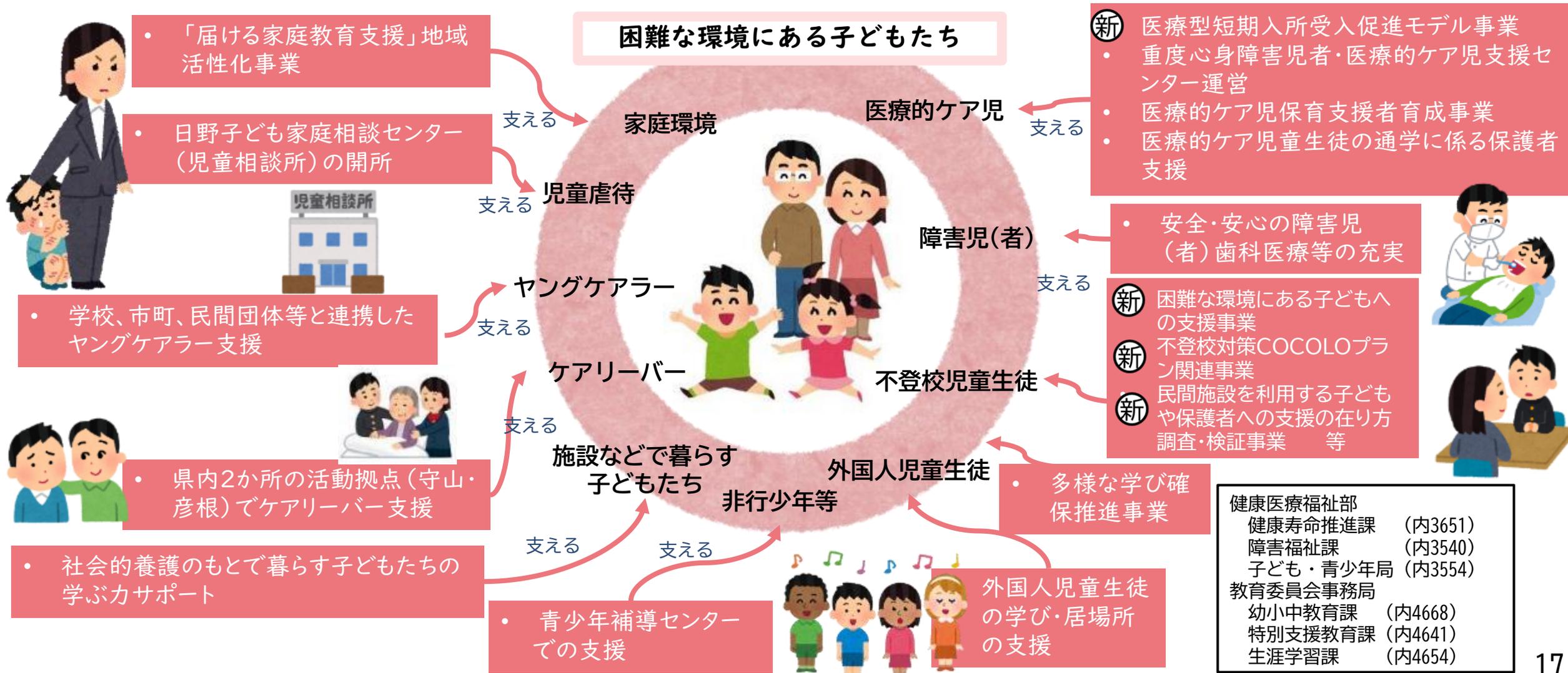
健康医療福祉部
医療政策課(内3625)
子ども・青少年局(内3565)



困難な環境にある子ども・若者の支援



困難な環境にある子ども・若者たちを社会全体でケアし、フォローしていく環境をつくる 【予算額3.7億円】



健康医療福祉部	
健康寿命推進課	(内3651)
障害福祉課	(内3540)
子ども・青少年局	(内3554)
教育委員会事務局	
幼小中教育課	(内4668)
特別支援教育課	(内4641)
生涯学習課	(内4654)

困難な環境にある子ども・若者の支援

つないで守る自殺対策

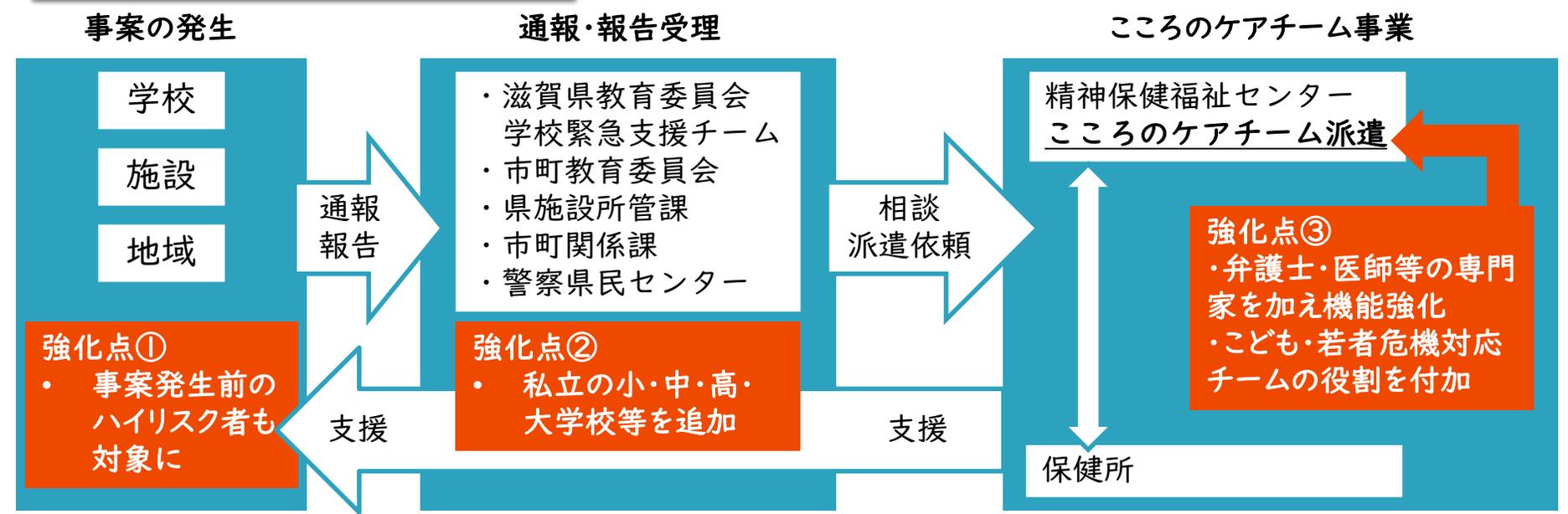
子ども・若者の自殺対策をさらに推進する

【予算額 4.1千万円】

新 こころのケアチーム機能の強化

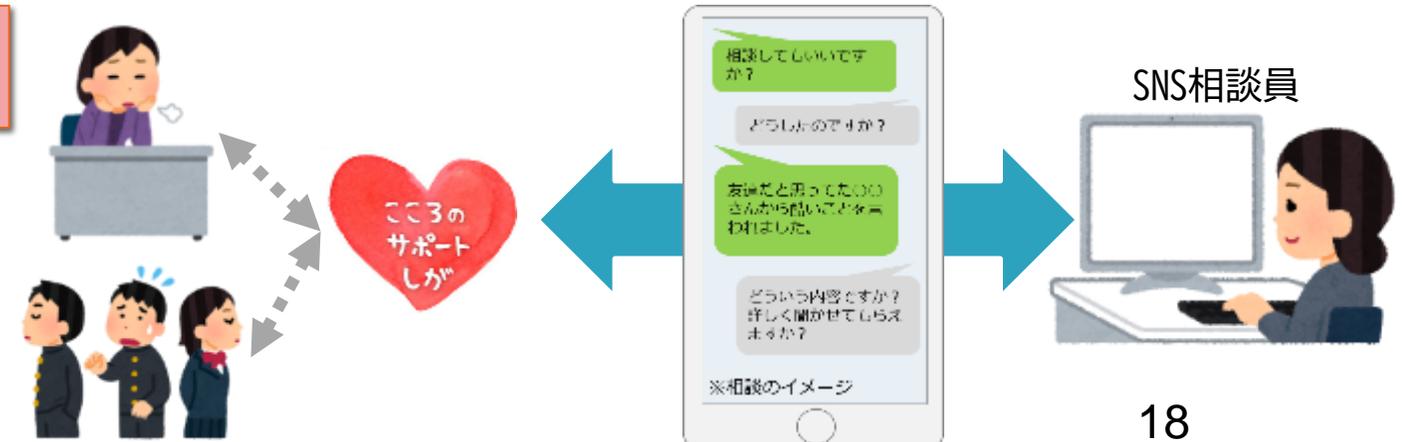
・10代から30代の死因1位が自殺
 ・子ども・若者の自殺対策が喫緊の課題

年齢階級	死因1位	率
10-14歳	自殺	28.6%
15-19歳	自殺	61.5%
20-24歳	自殺	52.6%
25-29歳	自殺	63.6%
30-34歳	自殺	38.5%
35-39歳	自殺	31.1%



こころのサポートしが (LINE相談)

若者等が相談しやすい環境を整えていく。



厚生労働省「人口動態統計」保管統計表 都道府県編より (令和3年)

健康医療福祉部 障害福祉課 (内3548)
 教育委員会事務局 幼小中教育課 (4668)

困難な環境にある子ども・若者の支援

不登校の状態にある子ども支援

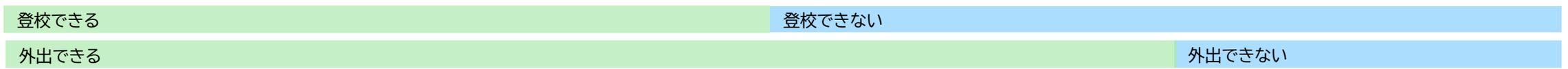


しがの学びと居場所の保障プランのもと、子どもの多様な学びの機会と居場所を保障する

(令和6年3月策定見込)

【予算額3.2億円】

子どもの状態



対応する支援策の方向性

教育と福祉との連携による、本人や保護者への相談・支援体制の充実

- 新「心の健康観察」の導入推進事業【不登校対策COCOLOプラン関連事業】
- こころのサポートしが(LINE相談)事業【困難な環境にある子ども支援事業】
- 「届ける家庭教育支援」地域活性化事業

スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置をはじめとする、チーム学校による支援体制の強化 拡SC、SSW等の配置拡充

校内の教育支援体制の強化

新 学習指導員の配置【困難な環境にある子どもへの支援事業】

新 地域の総合的拠点機能形成 (コーディネーターの配置) 【不登校対策COCOLOプラン関連事業】

教育支援センターの機能強化



多様な学びの場・居場所の確保

新 民間施設を利用する子どもや保護者への支援の在り方調査・検証事業
 新 子どもの居場所づくり支援体制強化事業
 新 子ども・若者の居場所づくり支援検証事業

新 地域の総合拠点機能形成(支援のない不登校児童生徒の実態調査)【不登校対策COCOLOプラン関連事業】

自立支援につなぐアウトリーチ強化

オンライン学習等の支援

新 地域の総合拠点機能形成(メタバース利活用) 【不登校対策COCOLOプラン関連事業】

健康医療福祉部
 子ども・青少年局 (内3565)
 教育委員会事務局
 幼小中教育課 (内4668)
 生涯学習課 (内4654)

安心して学べる学校づくり、多様な学びの場・居場所等と学校との連携強化

新 多様な学びの場・居場所等情報提供調査委託 【不登校対策COCOLOプラン関連事業】

学びの多様化学校等の検討

新 (仮称)しがの学びの保障・居場所の確保推進協議会の設置【困難な環境にある子ども支援事業】

子どもの健やかな学びと育ちを支える

確かな学力、豊かな心と健やかな体の育成



子どもの健やかな学びと育ちを支え、「生きる力」を育む

【予算額9.9千万円】

〔新〕 幼児期教育センター設置運営事業

・幼児教育アドバイザーによる研修、幼児教育施設への指導・助言等

○ 「個別最適な学び」に係る研究調査

・CBTデータを活用し、個々の伸びを経年把握
・滋賀大学と協力して分析を行い、適切な指導や取組についての研究を推進

○ 「読み解く力」推進プロジェクト

・公立小中学校で「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりを推進するとともに、子どもたちが自分の考えを深め、記述したり表現する指導を充実

確かな学力



健やかな体

豊かな心

〔新〕 全国高校総体 近畿ブロック開催推進事業

令和8年度全国高校総体近畿ブロック開催準備に係る経費の補助等

○ 楽しく運動推進事業

・幼児期等の安全で効果的な運動遊びを指導・啓発

○ 学校保健の機能強化

・学校保健の充実による子どもの心の健康の増進

○ 部活動の地域移行推進支援事業

・活動機会の確保に向けた実証事業の実施

〔新〕 「こども としょかん」 サポートセンター設置事業

・子どもの読書活動推進の総合調整を担う
「こども としょかん」サポートセンター設置

〔新〕 学校図書館連携推進事業

・学校図書に関わる者の連携強化
・学校図書館を生かした読書活動や授業づくりの活性化

〔新〕 「こども としょかん」 学校図書館応援事業

・「子ども読書・学校図書館支援コーディネーター」の配置
・学校図書館で活用する貸出図書セットの整備
・学校図書館サポーター養成講座

○ 人と人との豊かにつながる学校づくり共創事業

・互いの多様性を認め合い、一人ひとりが主体性をもって自己実現をめざす子どもの育成

教育委員会事務局
幼小中教育課 (内4662)
人権教育課 (内4592)
生涯学習課 (内4650)
保健体育課 (内4610)
図書館 (077-548-9691)

子どもの健やかな学びと育ちを支える 笑顔あふれる学校づくり



教職員の笑顔で子どもたちの笑顔を増やす

学校経営骨太モデル事業

「教頭業務の一部を担う」
「協働で業務遂行をする」
ミドルリーダー層の教員に
対して非常勤講師を配置

教頭の時間的、精神的な負担
軽減と次世代の管理職の育成

新 副校長・教頭マネジメント 支援員の配置

調査対応、サービス管理、施設
管理等の教頭業務を補助する
支援員の配置

教頭の事務処理に関
する負担を軽減



多様な人材の活用

- ・スクールカウンセラー
- ・スクールソーシャルワーカー
- ・部活動指導員
- ・地域ボランティア



子どもの笑顔

教職員の笑顔

働き方改革

人材確保



魅力発信

効果的な発信

- ・高校生への教師塾出前講座
- ・SNS等を活用した情報発信

大学説明会の開催

- ・県内、近隣府県の大学を中心に実施

【予算額 4.9億円】

教員へのファースト ステップ支援事業



教員免許を所有する人などに教職の魅力等
を説明するセミナーを開催

潜在的な教員希望者を掘り起こし
教員不足の解消につなげる



教員採用選考試験の工夫

- ・実施時期の早期化
- ・秋選考の実施

教員の資質向上

- ・指導力向上研修・情報教育の推進
- ・研修受講履歴記録システム/教員研修プラットフォームの活用

拡 教員業務支援員の配置 (スクール・サポート・スタッフ)

教員の事務作業を補助する支援員
全校配置へ！

教員が児童生徒への指
導や教材研究等に注力

教育委員会事務局	
教職員課	(内4530)
高校教育課	(内4571)
幼小中教育課	(内4668)
保健体育課	(内4610)

特別支援教育の充実

【予算額1.1億円】

共生社会の実現をめざし、多様な学びの機会と環境を整える

○ 「地域で学ぶ」支援体制強化事業

- ・合理的配慮コーディネーター、医療的ケア看護職員の配置
- ・適切な就学指導の推進
- ・分教室設置の研究

○ 特別支援教育の視点に立った「個別最適な学び」推進事業

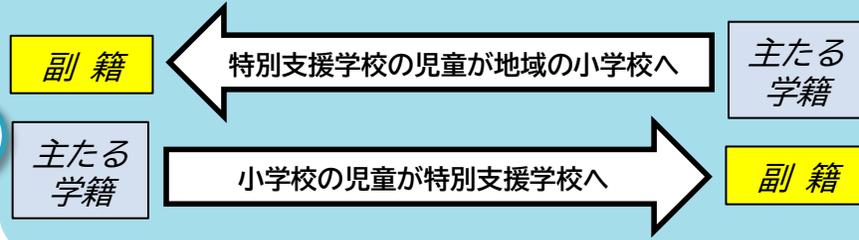
- ・市町担当者等向けワークショップの開催
- ・発達障害支援アドバイザーの派遣



小・中学校

副籍（副次的な学籍）制度の実施

【特別支援学校と小学校の双方に学籍を置いて学ぶ】



社会的・職業的自立

○ 職業的自立と社会参加をめざした職業教育充実事業

- ・就労アドバイザーの配置
- ・「しがごと検定」の実施
- ・「しがごと応援団」の運用



特別支援学校

○ 医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業

インクルーシブ教育システムの構築

○ 高等学校特別支援教育推進事業

- ・特別支援教育支援員（学習支援）の配置
- ・特別支援教育巡回指導員等の派遣

高等学校



○ 新 高等学校特別支援教育体制整備事業

- ・県立高等学校における特別支援教育の課題解決に向けた支援方法の研究や専門的な助言等を行う体制づくり

連携強化

特別支援学校の教育環境整備

○ 新 県立特別支援学校教育環境整備事業

- ・野洲養護学校・草津養護学校の大規模化に伴う課題解消のため、特別支援学校の分離新設に向けて調査等を行う。

○ 県立養護学校増築事業

- ・北大津養護学校の狭隘化対策として、校舎増築に向けた設計等を行う。

学びの基盤の充実

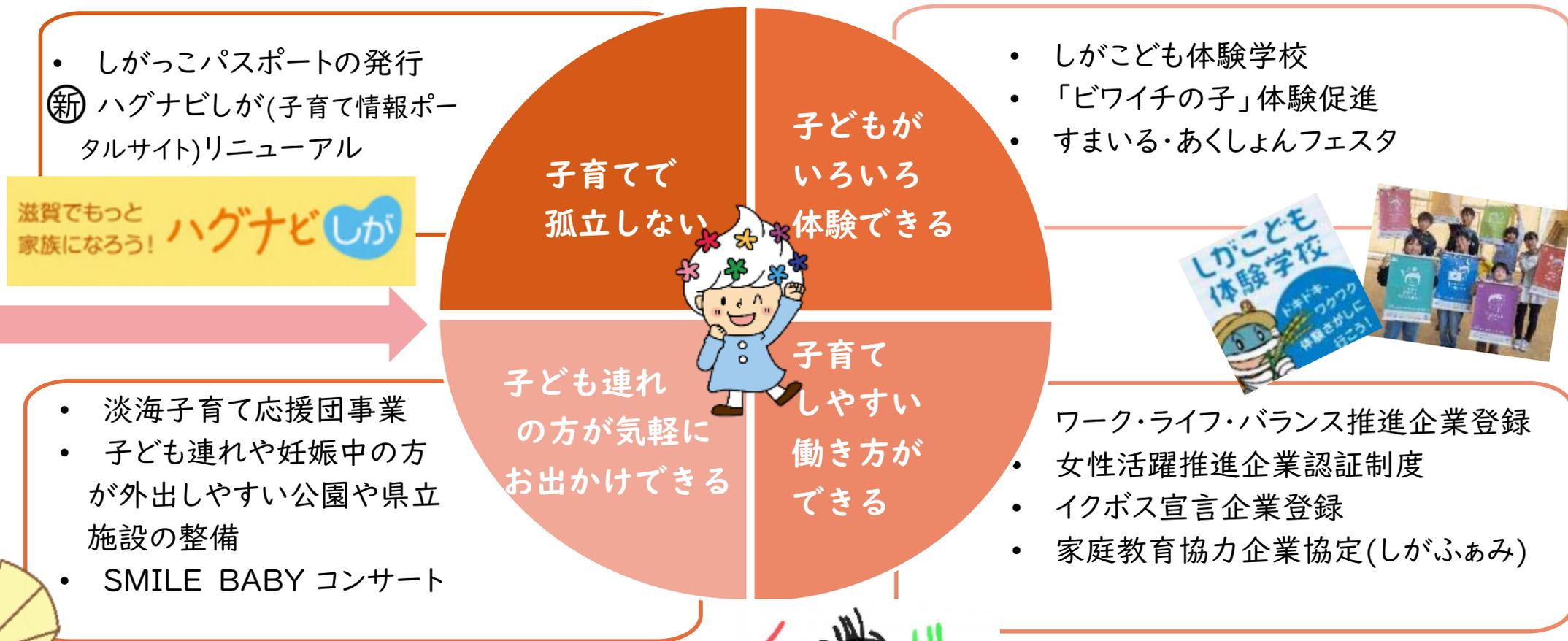
教育委員会事務局
 教育総務課 (内4516)
 特別支援教育課 (内4641)

社会全体で子育てを応援



官民連携で子育てを応援し、子どもと子どもに関わる人の笑顔があふれる社会をつくる【予算額 6.8千万円】

子ども・子育てに
やわらかい滋賀県とは？

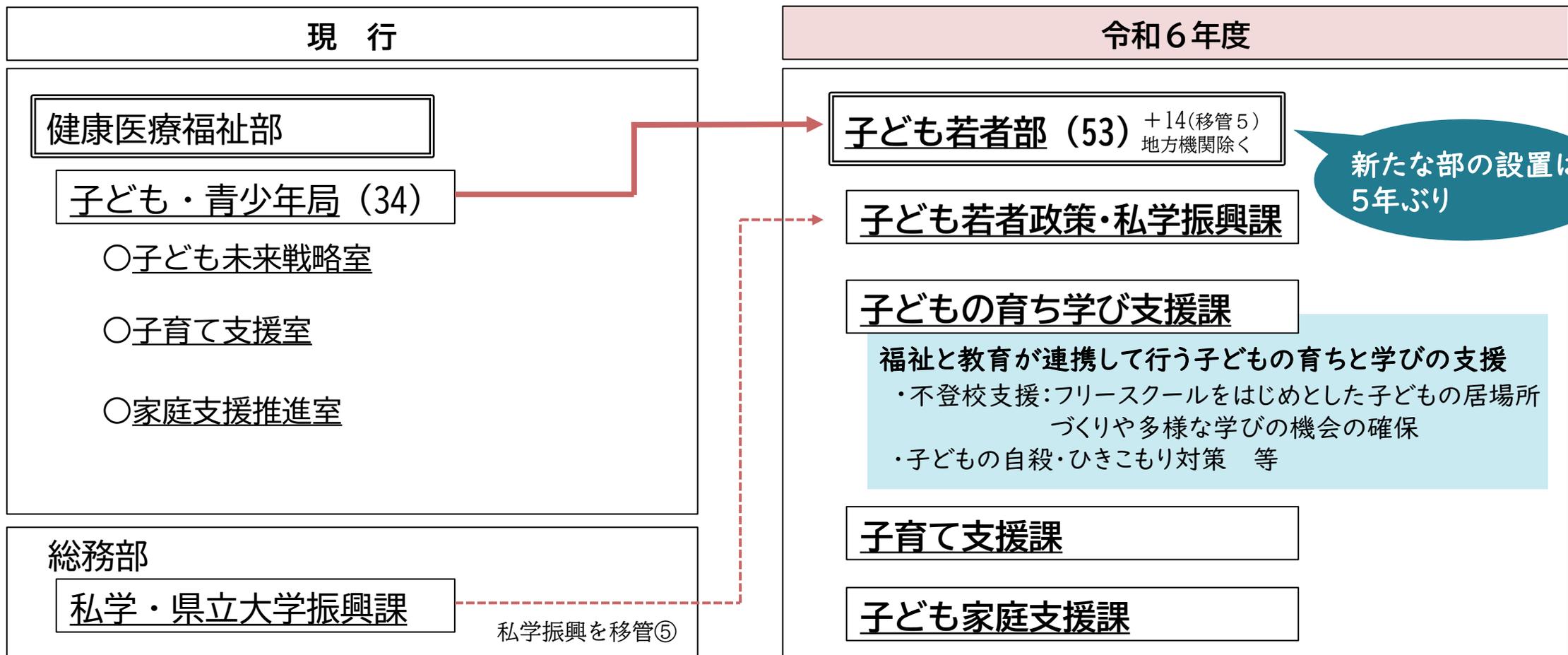


健康医療福祉部	子ども・青少年局	(内3565)
商工観光労働部	労働雇用政策課	(内3750)
	女性活躍推進課	(内3770)
	観光振興局	(内3741)
教育委員会事務局	生涯学習課	(内4654)

「子ども若者部」を設置 ▶ 子ども施策を一層推進するための体制強化

○子どもを真ん中に置き、子どもが幸せに成長し、大人が子育ての喜びを実感できる滋賀の実現に向け、庁内の司令塔として、関係部局とも連携の上、子ども若者施策を総合的に企画調整し、迅速かつ効果的・効率的に推進するため、新たに「子ども若者部」を設置しようとするもの*です。

*:改正条例案を県議会令和6年2月定例会議に提案します。



「日野子ども家庭相談センター」を設置 「近江学園」再整備に伴うケア体制整備

(子ども若者部)
(健康医療福祉部)

○児童虐待に対応し、困難な状況にある子どもへの支援体制を拡充するため、蒲生郡日野町に「日野子ども家庭相談センター」を設置しようとするもの*です。

*:改正条例案を県議会令和6年2月定例会議に提案します。

○令和6年4月の「近江学園」建替え再整備により、家庭的な環境を実現し、児童一人ひとりの状況に合わせた個別対応を行うためユニットケアに移行し、これに伴うケア体制を整備します。

現 行

健康医療福祉部

子ども・青少年局

- 中央子ども家庭相談センター
- 彦根子ども家庭相談センター
- 大津・高島子ども家庭相談センター

○淡海学園

障害福祉課

○近江学園 (57)

令和6年度

子ども若者部

子ども家庭支援課

- 中央子ども家庭相談センター
- 彦根子ども家庭相談センター
- 大津・高島子ども家庭相談センター
- 日野子ども家庭相談センター (43)
- 淡海学園

健康医療福祉部

障害福祉課

○近江学園 (63)

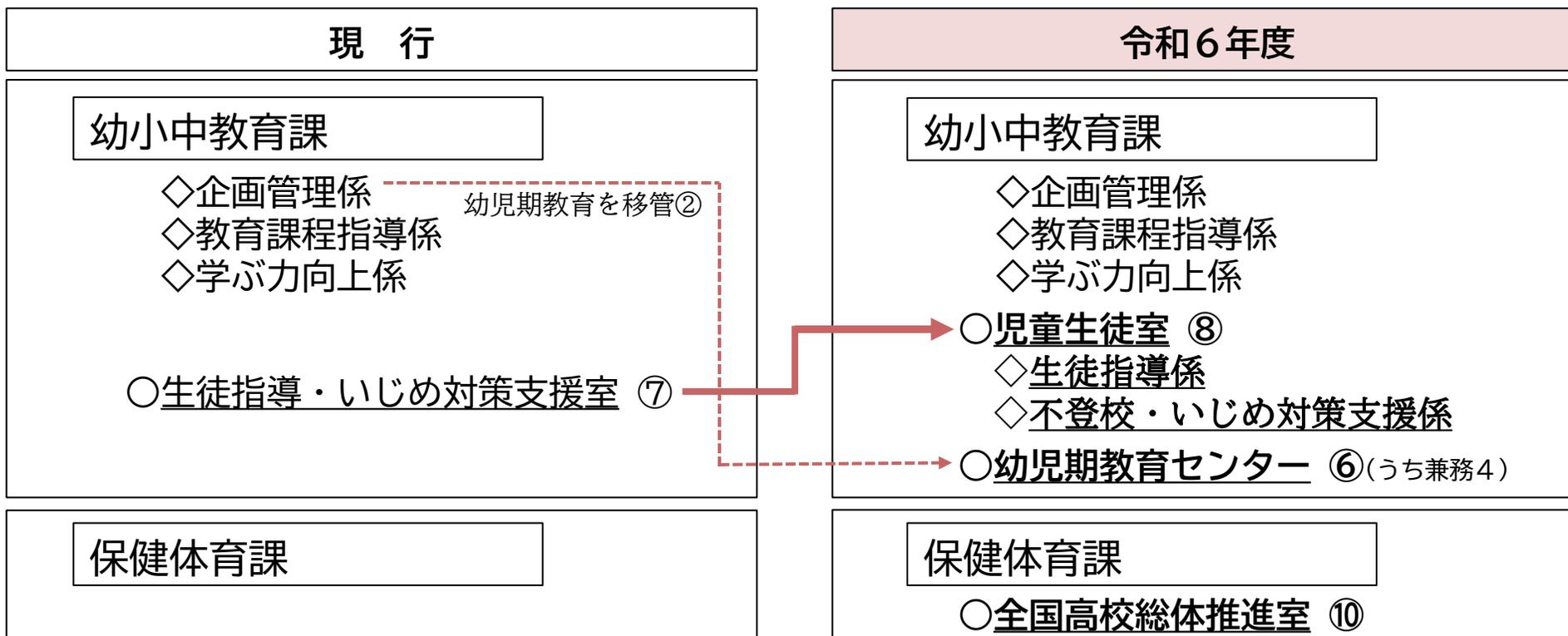
幼小中教育課生徒指導・いじめ対策支援室を「児童生徒室」に改称

幼小中教育課に「幼児期教育センター」を設置

保健体育課に「全国高校総体推進室」を設置

(教育委員会)

- 子どもたちが安心して学びに向かい、一人ひとりの状態に応じた必要な支援が受けられるよう、生徒指導・いじめ対策支援室を「児童生徒室」に改称し、「生徒指導係」および「不登校・いじめ対策支援係」を設置します。
- 公私や施設類型の垣根を越えた幼児期教育を推進するため、幼小中教育課に「幼児期教育センター」を設置します。
- 全国高校総体開催に向けた準備を推進するため、保健体育課に「全国高校総体推進室」を設置します。



柱② ひとづくり

- 社会的機能や地域を担い・支える人材の育成
- 子ども・若者が自ら考え、生きる力を育む学びの場づくりや次代の社会を支える高等専門人材の育成に向けた取組

取組

医療福祉のひとづくり

滋賀の経済活動を担うひとづくり

滋賀の未来を担うひとづくり



働き方改革に対応しながら、ポジティブイメージを発信していく

【予算額 7.7億円】



しがで「ナース」る!

介護職

「しがけあ2.0」プロジェクト

④ 介護業界と県が協働して進める「介護のしごと魅力発信」

業務負担軽減と質の高いケアを実現する「介護現場の革新」

⑤ ワンストップ支援窓口「介護現場サポートデスク」設置

⑥ 先駆的モデル介護事業所の創出、県内への横展開

ええやん!

「しがで医療職ってええやん!」プロジェクト

医師

④ 地域枠入学定員の増(11名→16名)

⑤ 地域医療をリードする医師の育成(海外留学等貸付金制度創設)

⑥ 次世代の地域医療を担う若手医師への支援

⑦ がんばる医療応援補助金

看護職

④ 子どもをターゲット「看護の魅力発信」の充実

⑤ 実習先確保、看護教員の確保定着に向けた検討

⑥ 専門性の高い看護職の養成・就業促進

⑦ 「看護地域枠制度」スタート

リハ

⑧ 「地域共生社会」を実現する地域リハビリテーションプロジェクト



健康医療福祉部
健康福祉政策課 (内3596)
医療政策課 (内3613)
健康寿命推進課 (内3651)
医療福祉推進課 (内3598)



医療福祉拠点を核としたひとづくり

- 地域包括ケアシステムの深化に必要なひとづくりや多職種連携強化の役割を担う医療福祉拠点の整備を推進するとともに、その効果を県全域に波及させる医療福祉連携ネットワークを構築する。

滋賀の経済活動を担うひとづくり

森林・林業・木材産業の担い手育成・確保



豊かな森林を未来に引き継ぐため、川上から川下までの森林・林業・木材産業等の担い手を確保・育成

【予算額 1.5億円】

琵琶湖環境部
びわ湖材流通推進課(内3928)

【川上】

活力のある林業の推進

- ・ **滋賀もりづくりアカデミー**
新規林業就業者の育成
既就業者の生産性向上支援
市町職員の育成
森林施業プランナー・森林経営プランナーの育成



- ・ **就業相談等**
就業相談や林業体験の実施、
林業事業者への就業支援



【川中】

加工・流通体制の整備

- ・ **森林評価測定士**
山土場での造材、仕分け・検知業務を担う
森林評価測定士の育成



- ・ **県産材の加工流通人材**
県産材の製材加工や流通に関する
人材の育成



【川下】

幅広い県産材の利用

- ・ **木造建築設計に精通した建築士等**
木造設計の知識と県産材の特性や流通状況を熟知した建築士等の育成
- ・ **木造化促進アドバイザー**
県産材の調達から木造設計について具体的な助言を行い、木材利用に理解のある発注者等を育成
- ・ **木育指導者**
木のおもちゃでの遊びや木工などを通して木の魅力を伝える人を育成



担い手の確保・育成により、農畜水産業の持続的発展を目指す

農畜産業



○新規就農者の確保・育成

- ・就農前から就農後の定着までの一貫した支援
- ④ 早期経営安定のための
資金交付、施設・機械の導入等
- ・女性、オーガニック野菜など多様な担い手確保



新規就農者への技術指導

○大規模個別経営体の経営発展・経営継承の取組による雇用拡大

- ・地域計画の策定等による担い手への
農地の集積・集約化
- ・専門家派遣や担い手サミット等による
経営発展・経営継承の支援



経営計画策定支援

○集落営農組織内の人材確保・育成

- ・オペレータ確保や専従者雇用、
共同利用機械導入等の支援
- ④ 将来を見つめ直す県域フォーラムの開催



集落営農組織内の研修

漁業



○新規漁業就業者の確保

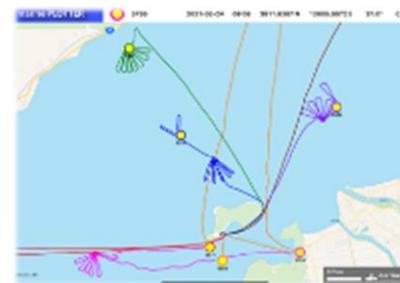
- ・就業フェアなどを通じた就業相談の実施
- ・漁業技術等を習得する研修の実施
- ④ 漁労資材取得など着業への支援



漁業研修

○漁業者の育成

- ・熟練漁業者の漁労技術のICTの見える化による技術支援
- ・経営スキル向上のための「びわ湖漁業塾」の開催
- ・湖魚の販売や食文化普及に取り組む担い手団体等の活動支援
- ④ 漁業団体の組織強化や機能充実



ICT機器による熟練漁業者の航跡の見える化



「びわ湖漁業塾」での県外研修

多様な人材の活躍を支援し、新たな事業展開に対応するための企業の人材育成を促す

商工観光労働部
 中小企業支援課 (内3733)
 モノづくり振興課 (内3794)
 労働雇用政策課 (内3750)
 女性活躍推進課 (内3770)

新 滋賀の産業ひとづくり推進プロジェクト

令和6年度～令和8年度

課題 ①産業人材不足の解消 (喫緊の課題) ②県内企業の持続的な発展による魅力ある雇用の場の確保 (中長期的な課題)



今後の産業ひとづくりの方向性、施策や取組
 について多くのプレイヤーと議論

滋賀県産業ひとづくり協議会 (新設)

検討項目 ・企業内リスキリングの推進
 ・高度外国人材の定着促進
 ・若年層の早期離職防止 など

人材確保

- しがジョブパーク等を通じて、若者・女性・中高年など企業の多様な人材確保を促進
- 新外国人材(高度技術人材)の活躍促進・確保支援の強化
- 新専門人材のマッチング支援(プロフェッショナル人材戦略拠点 北部サテライト設置)



人材育成

- 中小企業のDX人材の育成支援
- 新専門人材の活用等によるリスキリング支援
- 地場産業等体験を通じて次世代人材の育成
- 新小中学生を対象としたものづくり体験
- 新女性管理職の登用促進や育成支援
- <北の近江振興プロジェクト関連>
- 新社会課題解決を目指す起業家育成支援
- 新女性の再就労・キャリアアップ支援

働き方改革の推進

- 多様な主体(社労士会・労働団体・経済団体等)と連携した中小企業の働き方改革推進
- 在宅ワーク等、女性の多様な働き方への支援

一人ひとりの多様な働き方の実現による 更なる女性の活躍推進に向けて

商工観光労働部
女性活躍推進課 (内3770)

① 明日のおうみ女性リーダー育成プロジェクト

- 女性管理職の不安軽減・スキルアップ!
- 企業トップ層の意識改革!

女性
管理職
登用UP



② 女性の起業トータルサポート事業

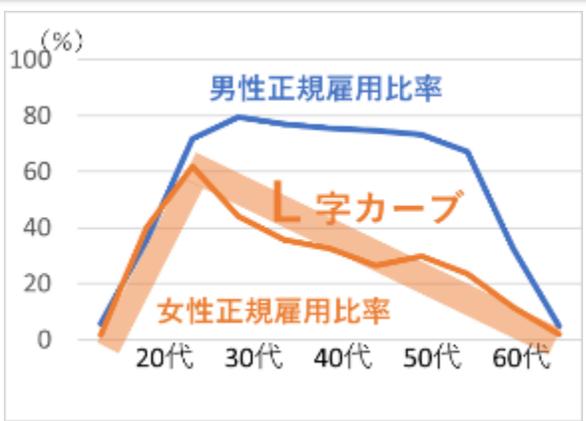
女性
起業者
応援

- 女性の起業応援事業
- 起業支援セミナーに **リスキングコース** を新設



③ 女性の活躍推進に関する調査研究

EBPM
への
取組



- 本県の女性の有業者に占める **非正規雇用の割合は全国1位**

→ 大学との連携による 要因分析

④ 北の近江女性活躍応援事業

北部振興
就労
支援

- 女性IT基礎スキル向上事業
ITスキルの不安払拭により 再就労を後押し!
- 女性活躍加速化事業

女性および企業のためのセミナー開催により、更なる女性の活躍を目指す!



滋賀の未来を担うひとづくり

滋賀のひとづくりを支える

【予算額 2.5億円】



滋賀の未来に向けたひとづくりを社会全体で支える

総務部 私学・県立大学振興課 (内3271 内3274)
商工観光労働部 労働雇用政策課 (内3759)
教育委員会事務局教育総務課 (内4587) 高校教育課 (内4575)

- 子どもたちが、どのような状況にあっても学び続けることができる環境を整えるとともに、未来に向け夢や志を抱き実現に向けて努力することや、滋賀の活性化に意欲をもって貢献したいという思いを応援
- 社会全体で子どもたちを応援する仕組みとなるよう、民間の協力も得つつ実施

困難な状況でも学び続けられる環境をつくる



新 奨学金返還支援制度の創設

経済的に困窮する世帯の子どもも安心して高校で学ぶことができるよう、奨学資金(貸付金)の1/2を返還支援

私立高等学校授業料負担軽減事業の拡充

子ども3人以上扶養する中間所得世帯の生徒を対象に私立学校特別修学補助金額を加算

未来に向けた夢や志の実現を応援する



新 滋賀県立大学未来人財応援奨学金制度の創設

県立大学において、主体的に学び、学業成績が優れている学生に対する奨学金を創設

「未来を描け!滋賀の海外留学応援プログラム」の実施

「探究活動」を伴う高校生の海外留学を支援

地域に貢献する人材を応援する



新 滋賀県産業ひとづくり協議会の開催

- ・企業内リスクリングの推進
- ・高度外国人材の定着促進
- ・若年層の早期離職防止 などの検討

賃上げ・人材確保に向けた就業規則等の見直し支援(R5.11補正)

魅力ある職場環境整備への支援

滋賀の未来を担うひとづくり

魅力ある県立学校づくり



【予算額8.3千万円】

生徒が生きる力を身に付け自らに合った学びができる、魅力ある高校づくりの推進

教育委員会事務局
高校教育課（内4578）
生涯学習課（内4654）

新 高校版DMO・観光ビジネスプロジェクト

高校生が持続可能な観光地域づくりにチャレンジ

大津商業高校

新 シン・マイスター・ハイスクール～地域創生への挑戦～

企業と連携した現地実習など、産官学が連携し、持続可能な人財育成を推進

彦根工業高校

産業教育高校12校

しがクリエイター12プロジェクト～産業教育高校がわがまちを魅力化～

地域や地元企業、大学等と連携し、高校生が地域の課題解決に取り組む

新 普通科改革の推進

令和7年度の新学科開設に向けた学びの環境整備

守山北高校
(仮称)
みらい共創科

伊香高校
(仮称)
森の探究科

県立高等学校魅力化推進事業

「北の近江振興」高校魅力化推進プロジェクト

北部地域の未来を牽引し、地域振興に寄与する人材の育成

地域連携重点

高大連携重点

産業教育重点

オンリーワンの魅力ある高校
「夢・想い」をかなえる場所

高校魅力化の方向性の観点

生活・スポーツ・
芸術系重点

多様な学び
重点

高校生による音楽魅力発信事業

高校生が、小中学生等に音楽の楽しさや魅力を伝えるイベントを開催

石山高校
愛知高校
愛知高等養護学校

新 多様な学び重点カリキュラム研究開発事業

生徒の多様な学習ニーズに対応したカリキュラム研究開発に取り組む

WWLコンソーシアム構築支援事業

カリキュラム開発拠点校：彦根東高校
連携校：膳所高校、虎姫高校、守山高校
水口東高校、高島高校

・大学レベルの教育の先取り履修
・高校生国際会議の開催 など

トビタテ！留学JAPANしが拠点形成推進事業

高校生の留学を支援

新 県立学校地域協働モデル事業

「子どもに寄り添う」地域と学校の「連携・協働」体制構築に向け、モデル校における取組の普及を目指す

滋賀の未来を担うひとづくり

持続可能な滋賀へ 子どもの「考え・創る」を企業・大学等と共に育む

子どもと企業・大学等をつなぐ新たな取組を展開

【予算額 2.0千万円】

子どもと滋賀の企業等をつなぎ、子どもと共に未来を創る



ことなBASE

子ども×大人でつくる、滋賀の未来。

- 子どもに仕事や想いを共有し、社会を支える心を育む
- 子どもの視点で、持続可能な経営を考える

「SDGs学びとイノベーションのプラットフォーム」

Up!
子どもの未来
企業の付加価値

新 子どもの「生きる力」育みに滋賀の大学・企業の強みを生かす

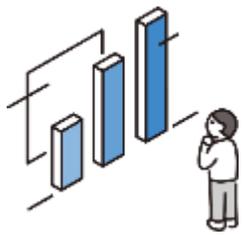


「産官学連携によるSTEAMプログラムの創出」

- 子どもの「考え・創る」力を育む体験プログラム創出
- 科学的思考をもつひとづくり、探求する環境づくりを支援

Up!
企業・大学と教育
とのシナジーで子
どもの生きる力を

新 子どもをまんなかにおいて滋賀の大学の「知」と未来を創る



「学ぶ・STEAMなら滋賀」を実現する大学と施策連携研究

- 社会課題の解決による地域活性化や、ひとづくりにつながる
大学、行政との連携のあり方を調査・研究

Up!
滋賀の大学の
「知の力」を
高め、生かす

総合企画部 企画調整課 (内3312)

企業や大学と連携した取組の推進



・企業と学生等の協働による
ソーシャルビジネス創出
【商工政策課(内3715)】



・滋賀ジュニアリサーチグラントに
おいて、県内中高生が取り組む研
究を県内大学院生等がサポート
【モノづくり振興課(内3794)】



・コミュニティ通貨「ビワコ」を
企業や大学と連携して展開
【市町振興課(内3230)】



・大学・企業等と地域が連携し
て魚のゆりかご水田を推進
【農村振興課(内3963)】

・障害者スポーツ共生社会プ
ロジェクトで大学が中心とな
りスポーツの教室や講習会
等を開催
【スポーツ課(内3366)】

・大学との協働による「びわ湖
の日」連続講座の開催
【環境政策課(内3453)】



令和10年4月の開校を目指し

構想・検討をカタチにするフェーズに!

【予算額 5.9億円】

総合企画部
高専設置準備室 (内4581)

◆施設の整備 (441,197千円)

- ・事業用地の造成工事
- ・事業用地までの上下水道整備設計
- ・校舎建設等にかかるPFI事業者の選定

◆体制の構築 (62,124千円)

- ・教員募集・選考
- ・専用ホームページの開設
- ・子ども向けイベントの開催、小・中学校への周知
- ・産業界との連携・共創の具体化



目指す学校像:
すべての人と地球を支え続ける技術を磨く学校

滋賀県初の高専を野洲に設置

目的

- ①次代の社会を支える高度専門人材を育成!
- ②技術者育成・交流のハブとして地域産業・社会に貢献!

意義

- ①15歳の新たな選択肢
- ②共創による産業の活性化
- ③地域と地球の課題の解決

~R5 グランドデザインを描き基本的な方向性を示す

「基本構想2.0」を策定

R6

R7

R8

R9

R10 開校

〔総合学科〕
情報技術をベースとした学び

2年次以降
4つの専門コースに

- ・機械系
- ・電気電子系
- ・情報技術系
- ・建設系 (環境・インフラ系)

設置認可 (事前相談・申請)

入学生
受入準備

学生募集

認可

教員確保

周知・広報

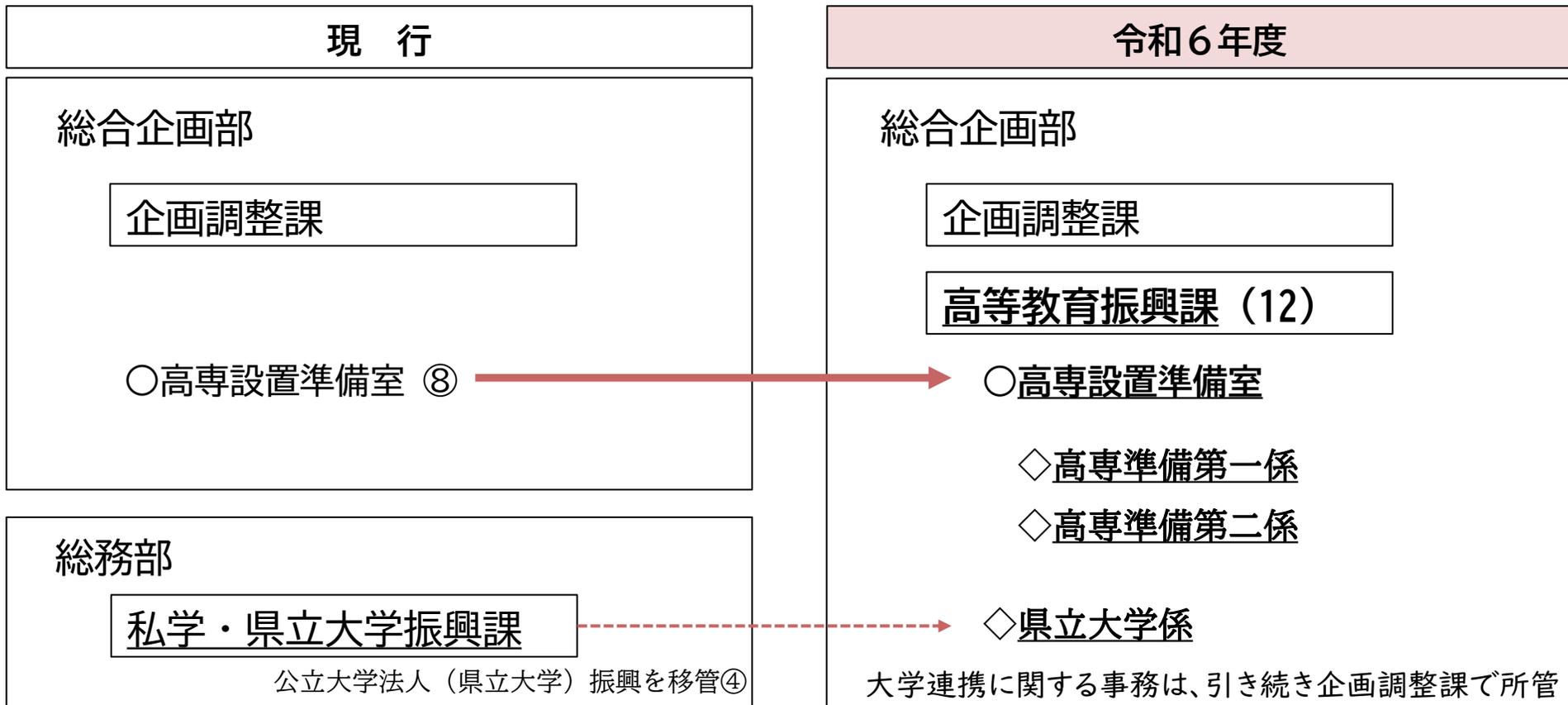
連携・共創具体化

学校運営体制構築

施設整備

「高等教育振興課」を設置 ▶ 県×公立大学法人による推進体制強化（総合企画部）

- 県立高専設置準備と公立大学法人（県立大学）振興の所管を統合・一体化し、総合企画部に新たに「高等教育振興課」を設置します。
- これにより、県立高専（令和10年4月の開校）の設置準備と県立大学の魅力化向上等に一体的に取り組み、県立高等教育機関全体の振興を図ります。



※ 私学振興に関する事務は、「子ども若者部」に移管

柱③ 安全・安心の社会基盤と健康づくり

【予算額995.9億円】

- ▣ 人が人や社会、自然とつながる場づくりを大切に、こころとからだの健康の両立を目指した取組を推進
- ▣ 「誰もが、行きたいときに、行きたいところに移動ができる」環境づくりや、安全・安心に暮らすことができる社会基盤づくりの取組を推進



取組

こころとからだの健康づくり

世界一の公園を目指す “THE シガパーク”

誰もが文化芸術を楽しめる環境の確保・充実

誰もがスポーツを楽しめる環境づくり

強靱な社会インフラの整備・維持管理

地域公共交通の維持・活性化

新たな治安課題に対応した安全・安心な地域づくり

こころとからだの健康づくり

健康しがの実現と安心安全な医療福祉体制づくり

3 すべての人に健康と福祉を	8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
-------------------	-----------------	-------------------------

誰もが自分らしくいきいきと活躍し、みんなでつくり支え合う「健康しが」の実現

【予算額 12.5億円】



健診データ、治療情報、ゲノムデータ等を結び付けた分析

社会・生活環境因子を多角的に分析

健診データベース活用事業

子ども・若者「健康しが」の推進

運動しやすいまちづくり

滋賀県立総合病院臨床研究センターが大学や医療機関等と連携し、全県の健康・医療データベースを構築・分析

- 健康的な習慣を促す仕組みづくりの構築
- 様々な人の健康習慣の発信・SNS発信力強化
- AIやアプリ等のセルフチェックを活用し、歯科健診の受診促進

- 公共交通機関を利用し、歩数を増やす取組
- 体力づくりやスポーツに励める公園として“THE シガパーク”の機能強化と利便性の向上

新興感染症など、健康危機事案発生時に対応できる体制づくり

健康しがを支える安心安全な医療福祉体制

- 保健医療福祉調整地方本部の機能強化
- 感染症対策リーダーの育成
- 衛生科学センターの機能強化
- 災害拠点精神科病院の指定
- DPAT(災害派遣精神科医療チーム)養成

- 湖北圏域の病院再編の推進
- 精神保健医療福祉体制の強化
- 精神科病院における虐待防止
- 重度の身体、知的、精神障害者の医療費助成
- 在宅医療支援薬局の普及推進

健康医療福祉部
健康寿命推進課 (内3651)
滋賀県立総合病院
(077-582-8051)
土木交通部
交通戦略課 (内3681)
都市計画課 (内4281)

セーフティネットづくり

ネットワーク強化で誰もが安全・安心に暮らせる社会をつくる

【予算額 4.5千万円】

依存症対策

⑧ インターネット投票利用者の調査研究や対策の検討



課題

- ・ コロナ禍の影響でインターネット投票が増加
- ・ ギャンブル障害を発症するリスクが高まる可能性

びわこボートレース局

- インターネット投票利用者データの提供
- 事業実施財源の提供

3部局連携での調査実施

精神保健福祉センター

- 医学的見地に基づく、ギャンブル依存症発症予防に資する調査研究

障害福祉課

- 広報啓発
- 依存症関係機関連絡協議会の開催

関係機関と調査結果を共有

依存症関係機関連絡協議会での検討
(警察本部、医療機関、相談支援機関、民間支援団体等)

研究成果を基に、R7年度以降の依存症対策の実施を検討

- 広報啓発
- 人材養成
- 患者ケア 等

再犯防止対策

- 国・市町・民間協力者と連携した息の長い支援
 - 広域的な就労・住居の確保支援、特性に応じた支援
- ⑨ 性犯罪再犯防止に向けた人材の育成
- 広報啓発による県民の理解促進

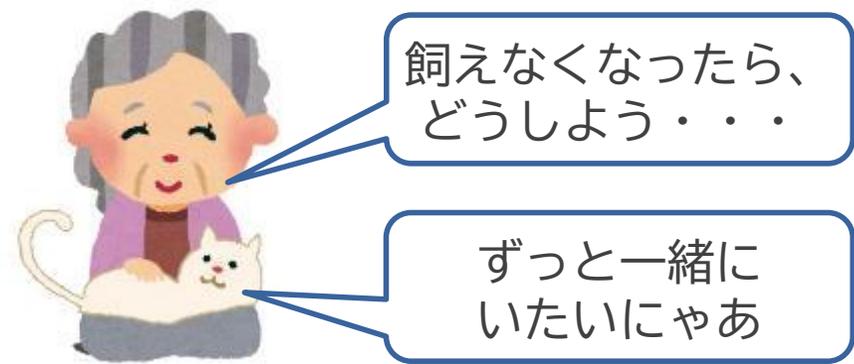
孤独・孤立対策

- 孤独・孤立対策官民連携プラットフォームを中心とした対策の推進
 - しが孤独・孤立ポータルサイトによる情報発信
 - フォーラムの開催等による支援者のネットワークづくり

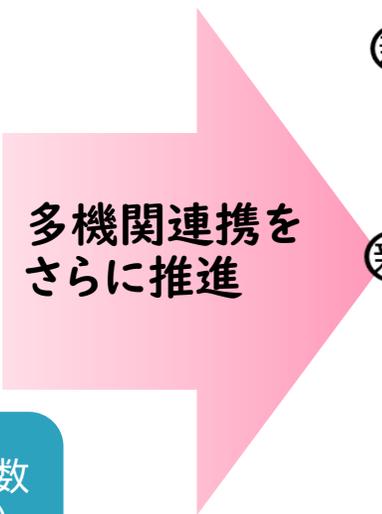
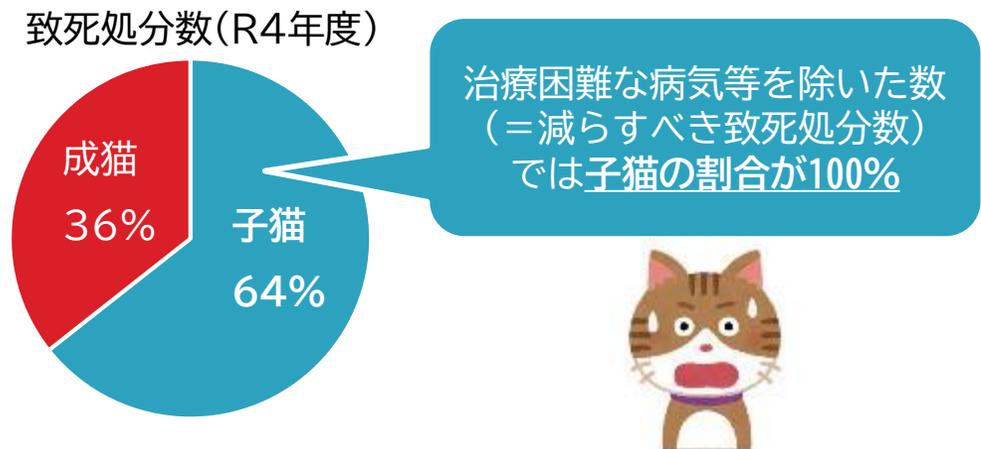
総務部
びわこボートレース局
(077-522-1122)
健康医療福祉部
健康福祉政策課 (内3519)
障害福祉課 (内3548)

人と動物(犬、猫)が適正に関わることで、人と動物が幸せに年齢を重ねる社会を醸成する 【予算額 0.6千万円】

・高齢者等における適正飼養の確保



・致死処分の大半をしめている哺乳期の子猫



⑨ 獣医師会との連携により、マイクロチップによる所有者明示措置を推進



⑨ 動物関連事業者との連携により、ライフステージに応じた適正飼養啓発を実施

⑨ 子猫ミルクボランティアを養成し、哺乳期の子猫の育成・譲渡拡大により致死処分を削減



・ 県内の商業施設でのイベント開催

健康医療福祉部
生活衛生課 (内3641)



こころとからだの健康づくり

元気高齢者の活躍推進

人生100年時代をイキイキ生ききる「健康しが」の実現に向けて「元気高齢者」の活躍を推進する 【予算額 2.2億円】

「学び」につながる施策

- ④ レイカディア大学のカリキュラムの充実
- ④ 日常生活支援等の場における元気高齢者の活躍に向けた講座開催を支援
- 退職シニア等の介護未経験者に対する入門的研修の実施
- 生活支援コーディネーター等の地域づくり人材の育成
- 「びわ湖の日」連続講座
- 県立施設の一部（常設展等）高齢者料金無料・割引



活動する



つながる



学ぶ

「活動」につながる施策

- レイカディア大学卒業生による主体的な地域づくり活動の促進支援
- ④ 高齢の人が働きやすい職場環境づくりの取組を促進（就労する家族介護者の支援）
- スポーツボランティアの支援
- 運転免許返納者を対象としたバスの運賃値引き
- 地域と学校の連携・協働体制の構築

「つながり」を支援する施策

- 県ボランティアセンターにおけるシニアの活動相談や情報提供、マッチング等を支援
- 働くことでの生きがいづくり（シルバー人材センター）
- シニアジョブステーション滋賀における就労支援

健康医療福祉部	医療福祉推進課	(内3520)	琵琶湖環境部	環境政策課	(内3453)	教育委員会事務局	生涯学習課	(内4654)
文化スポーツ部	文化芸術振興課	(内3341)	商工観光労働部	労働雇用政策課	(内3767)	土木交通部	交通戦略課	(内3681)
	文化財保護課	(内4670)						

世界一の公園を目指す “THE シガパーク”

【予算額 3.2億円】



すべての人が集い、交流・体験の場となり、
子どもたちが美しい自然の中で遊び、学ぶことができる場となる
「水と緑と人につながる“THEシガパーク”」を目指す

滋賀県はでっかい公園だ！

ザ THEシガパーク

県土に占める
自然公園の割合
全国 **1位**
県土の37.3%が自然公園

- 3つの視点(美・優・楽)
- 1.【美】「うつくシガパーク」
 - 2.【優】「やさシガパーク」
 - 3.【楽】「たのシガパーク」



湖岸緑地 各地



魅力向上のための
インフラ整備 都市計画課(内4281)



新 THEシガパークプロジェクト
県外・海外に向けた情報発信

都市計画課(内4281)

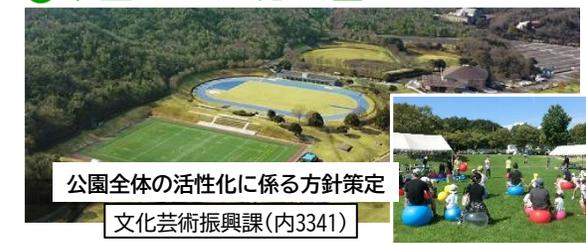
1 自然公園岡山園地等 各地



自然環境保全課(内3481)

魅力向上に向けた
企業等との連携検討

2 希望が丘文化公園



公園全体の活性化に係る方針策定

文化芸術振興課(内3341)

5 びわ湖こどもの国



地域の魅力を生かした
体験活動の充実 子ども・青少年局と
も未来戦略室(内3550)

4 矢橋帰帆島公園



新 老朽化した遊具の更新 下水道課(内4210)

3 近江富士花緑公園



森林政策課(内3919)

新 木育拠点整備および
企業協働による施設改修

6 陶芸の森



「陶芸の森のあり方に関
する懇話会」の開催
モノづくり振興課(内3793)

魅力向上のための3つの取組 (Three Up)

- 【Team Up!】
部局を横断した公園連携・庁内連携
- 【Level Up!】
公園の機能強化と利便性の向上
- 【Tie Up!】
市町・民間事業者・住民等との協働

土木交通部
都市計画課公園魅力向上推進室
(内4281) **43**

誰もが文化芸術を楽しめる環境づくりや滋賀ならではの文化資源を活用した文化観光の推進

誰もが文化芸術を楽しめる環境づくり

○文化芸術に触れる機会の提供

・ホールの子事業

県内全ての小学校等の子どもたちに優れた舞台芸術に直接触れる機会を提供



ホールの子事業

・滋賀県芸術文化祭開催事業

開催記念イベント、美術展覧会、写真展覧会、文学祭の実施

○障害者文化芸術活動の推進

・文化芸術による共生社会づくり事業

市町の文化施設と連携した
①子ども・若者主体による鑑賞サポート付き演劇プログラムの開催



字幕メガネを付けた演劇鑑賞

②障害の有無にかかわらず、誰もが親しめる文化芸術プログラムの開催

新 ○県文化施設の機能充実

・美術館魅力向上事業

県立美術館の機能を向上するための整備基本計画の検討着手、美術館と公園が一体となった魅力向上のための検討、子どもも大人も来なくなるキッズミュージアムの実施に向けた取組の実施



開館40周年
県立美術館

文化資源のさらなる活用

新 ○文化産業交流会館

・県北部における舞台芸術普及事業
邦楽演奏家と地域の文化芸術活動者等との連携による音楽イベントを開催



文化産業交流会館

新 ○滋賀の造形作品

・ぐるっと美の魅力発信事業

福祉の現場から生まれた造形作品の展示施設や日本遺産等、県内各地に点在する多様な滋賀の美の魅力を巡るモデルツアーを実施



新 ○滋賀の文化施設

・文化資源を活用したツアー造成事業

観光振興局と連携し、びわ湖ホールや県立美術館等国際的水準の文化施設の周遊ツアーを実施

新 ○びわ湖ホール

・オーストリア(ブルゲンラント州)との文化的友好交流事業

ブルゲンラント州にゆかりのある指揮者を招聘し、びわ湖ホール声楽アンサンブルを対象に歌唱指導を実施



びわ湖ホール

誰もがスポーツを楽しめる環境づくり【予算額 15.7億円】

～わたSHIGA輝く国スポ・障スポを契機に「スポーツで滋賀を元気に！」～

★からだところの健康の実現
★スポーツを通じた地域振興の推進



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ盛り上げの年

令和6年度の主な取組
～“地域”を意識した事業の展開～

- ①子どもへの働きかけ ～“地域”を盛り上げる～
 - ・県内小中学校へのスポーツ大使の派遣
 - ・子どもが関わるシンボルスポーツの創出(スポーツツーリズムへの種まき)
 - ・県立スポーツ施設での子どもイベントの開催(環境整備も含む)
- ②障害者スポーツの周知強化 ～“地域”への定着～
 - ・障スポ体験イベントのキャラバン開催
 - ・各種イベントでの啓発活動の強化
 - ・特別支援学校との連携強化

国スポ・障スポ開催に向けた施設整備
競技力向上対策の推進
障害者スポーツの裾野拡大 等

～令和5年度

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催の年

令和7年度の主な取組
～取組の拡充・強化+αの取組～

令和7年度の取組の拡充・強化
開催年ならではの取組(トップアスリートを現地で見る機会の提供等)
国スポ後を見据えた取組(スポーツツーリズムの発展に向けた取組等)

令和7年度

「スポーツ+観光」での
相乗効果最大化
(スポーツツーリズム)



・成人のスポーツ実施率	75%
・障害者スポーツ実施率	60%
・シンボルスポーツの定着	20競技

誰もがスポーツを楽しめる社会を実現

スポーツを通じたおもてなしの充実

【予算額 136,700千円】

- わたSHIGA輝く国スポ・障スポの機運醸成等のため、県立スポーツ施設で、子どもたちを中心に地域を巻き込んだ盛り上げを創出
- 誰もがスポーツを楽しめる大会に向けて環境整備を実施

子どもがスポーツを楽しむ機会の創出

- 「子ども・子ども・子どもの日」として、各県立スポーツ施設で年間を通じて子どもたち・親子を対象にした取組を展開
- 安心してスポーツを楽しむための環境整備を実施

バリアフリー対策の強化

誰もがスポーツを楽しめる大会に向けて、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ会場となる県立スポーツ施設の機能を強化



シンボルスポーツの重点支援

【予算額 9,000千円】

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催競技等を地域のシンボルスポーツとして発展

新規の大会開催・合宿誘致+地域交流

わがまちスポーツの定着



障害者スポーツを通じた共生社会の実現

【予算額 21,291千円】

障害者スポーツの普及・理解促進



- スポーツフェスタ・スペシャルスポーツの広場（障害者スポーツ体験事業）を県内各地で開催
- 様々なイベント等を通じてわたSHIGA輝く障スポを盛り上げ、障害者スポーツの理解を促進

障害者スポーツのすそ野拡大



- 障害のある方が身近な場所で継続的にスポーツに親しめるよう「障害者スポーツ教室」を総合型地域スポーツクラブ等で開催

文化スポーツ部
スポーツ課
(内3361)

強靱な社会インフラの整備・維持管理

【予算額 671.4億円】



道路ネットワーク整備

■ 県民の生活や企業の経済活動を支える道路ネットワークの構築

(主) 大津能登川長浜線 [山手幹線]



(主) 近江八幡守山線 [大津湖南幹線]



土木交通部
道路整備課(内4132)

適正な維持管理

■ 予防保全に基づくインフラメンテナンスへの転換



橋梁修繕

土木交通部
道路保全課(内4135)

■ 高時川濁水対策(対策・モニタリング・検討会議)



- ・流域での土砂流出防止対策や産卵場の機能回復への支援など短期・中長期の対策
- ・濁りの状況のモニタリング
- ・検討会議(有識者、漁業、地元、行政等)での情報共有、効果検証、さらなる対策の検討

琵琶湖環境部
森林保全課(内3930)

防災対策

■ 激甚化・頻発化する自然災害から人命・財産を守る

河川改修事業の推進

流下能力の拡大等による
治水安全度の向上



河川の拡幅・天井川切下げ

土木交通部 流域政策局(内4150)

土砂災害対策の推進

砂防施設の整備により
地域の安全・安心を確保



砂防堰堤
の整備

土木交通部
砂防課(内4194)

農地防災事業の推進

農村地域の暮らしの安全を確保

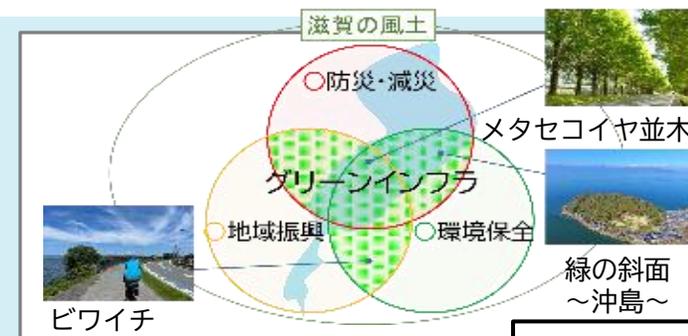


ため池の
地震対策

農政水産部
農村振興課(内3964)

グリーンインフラの推進(取組方針策定)

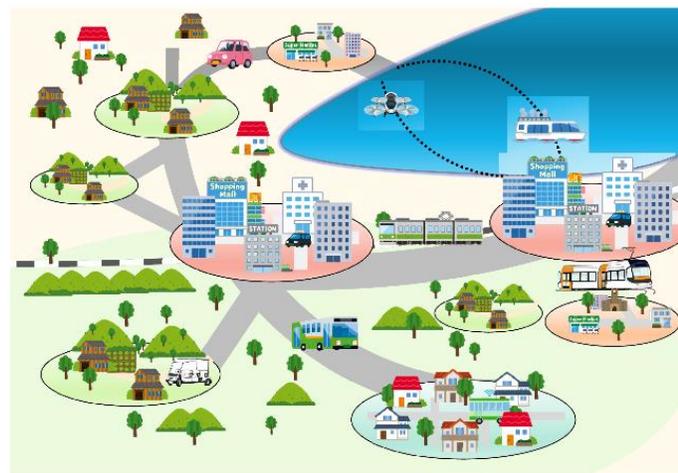
■ 自然環境(滋賀の風土)が有する多様な機能の活用を推進



土木交通部
技術管理課(内4118)

滋賀地域交通ビジョンや都市計画基本方針等を踏まえ、 「誰もが、行きたいときに、行きたいところに移動できる」地域交通ネットワークの構築

公共交通未来アイデア会議



- ワークショップによる地域ごとの移動手段の検討
- 県地域公共交通活性化協議会開催
- 負担分担のあり方検討

県民参画の取組をさらに進め
より具体的な地域交通の姿を描く

土木交通部
交通戦略課 (内3681)

地域特性に応じた交通ネットワーク構築

- 交通軸の強化と交通網の再編・充実にかかる実証
- 地域の輸送資源活用可能性検証
- 実証を踏まえた役割分担整理

など

鉄道利用促進事業

- 通勤時の鉄道定期利用の促進
- 鉄道の旅 広域発信
- 湖西線開通50周年記念事業
- 草津線利用促進

など

既存公共交通の維持活性化

- 地方バス路線運行維持
- 信楽高原鐵道線保安設備整備
- 近江鐵道線再構築事業

近江鐵道



R6年度より公有民営方式による上下分離に移行

新たな治安課題に対応した安全・安心な地域づくり

3 すべての人に健康と福祉を
5 ジェンダー平等を表現しよう
11 住み続けられるまちづくりを
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう

警察本部(代表)077-522-1231

変容する社会に対応し、滋賀の安全・安心を確保するための取組

【予算額 1.3千万円】

安全・安心アプリ導入事業

- 有益な情報を最適なタイミングで提供し、自発的な行動変容を促す
- あらゆる警察活動やデジタルを活用してアプリをPR
- アプリを通じて自主防犯への取組強化、防犯活動への参画を促進
- アプリ利用者から地域を巻き込んで**県民全体の犯罪抑止力を向上**

生活安全企画課 内線3042

滋賀県警察
公式アプリ



安全・安心情報の発信・広報啓発高度化事業

- ソーシャルメディアの機能を活用して情報発信
- 若者を中心に闇バイト等の**犯罪に加担しない・させない**ための注意喚起や啓発を実施
- 特殊詐欺等の**被害に遭わない・遭わせない**ための予防的行動を促す情報を発信
- 家族・地域のかで被害を防止



生活安全企画課 内線3031, 3032

新

安全・安心なサイバー空間構築推進事業

- サイバー犯罪の被害防止に向け、**中小企業向けのシンポジウム**を開催
- サイバーセキュリティーセミナーの講師となる職員のスキルアップ
- 中小企業の**サイバーセキュリティー意識の一層の向上**を支援



サイバー犯罪対策課 内線3192

高齢ドライバー「バイタリティ・プラス！」事業

- 最新の**運転技能自動評価システム「オブジェ」**を導入
- **お試し自主返納**を継続実施
- 今後の運転のあり方を提案
- 社会全体で考える気運を醸成



交通企画課 内線5032

新

新たな移動主体を用いた交通安全教育事業

- **次世代モビリティ**への県民の理解を促進
- 交通事故等を回避する力を育成
- **新たな交通環境への適応に向けた交通安全意識を醸成**



交通企画課 内線5024

柱④ 持続可能な社会・経済づくり

- 食糧安全保障に対応しつつ県産農畜水産物のシェアを拡大するとともに、農林水産業の営みと農山村の暮らしを次世代につないでいく。
- スタートアップを支援するとともに、オープンイノベーションを加速させ、産業の創出を図る。
- 滋賀ならではの文化や文化財を活かしながら万博等を見据えて「シガリズム」を推進
- 世界とのつながりや、脱炭素、GX・DXをより一層推進



取組

食料安全保障につながる持続的で生産性の高い農畜水産業の実現

世界農業遺産「琵琶湖システム」を次世代につなぎ、活かす取組

産業の創出と中小企業の活性化推進

滋賀ならではのツーリズム「シガリズム」の推進

海外交流再起動プロジェクト

CO₂ ネットゼロ社会づくりの推進

DXの推進



きらみずき

滋賀県産近江米

こだわる人が選ぶ「おいしさ」と「やさしさ」

新 ○ 多様な生産流通販売を支援

- ・JAの組織的な生産流通販売
- ・有機栽培グループの組織化

○ 栽培技術体系の確立と生産拡大

- ・地域に応じた有機質肥料体系や農薬低減技術
- ・栽培技術や生産拡大に向けた研修会
- ・収量・品質の実態把握



きらみずき栽培ほ場

生産対策



消費喚起





みおしずく

ひとしずくから輝く宝石へ

○ 組織的な生産・出荷体制を整備

- ・新品種の特性に合わせた養液管理等の支援
- ・共同出荷体制に向けた統一資材等の支援
- ・種苗の共同購入の支援

新 輸出に向けた生産技術の調査・検討

新 ○ 種苗の安定供給体制の整備

- ・ウイルスフリー苗の安定供給



みおしずくの栽培



きらみずき

滋賀県産近江米

こだわる人が選ぶ「おいしさ」と「やさしさ」

新 ○ 広域プロモーションを実施

- ・県内、京阪神地域での販売促進
- ・首都圏を中心としたオーガニック米の市場開拓
- ・「コシヒカリを超える価値」のPR
- ・首都圏の料理人による
オーガニック近江米のPRの実施



首都圏での「きらみずき」のPR

○ 生産者と消費者をつなぐ取組を推進

- ・生産者が参加したPRイベントの開催

新 企業と連携したスイーツ等の新商品開発

新 首都圏におけるPRの実施



企業と連携したスイーツ等の開発

生産者と消費者をつなぎ、県オリジナル品種のブランド化を推進

将来にわたり“選ばれる近江牛”づくりへのチャレンジ



牛よし

家畜の快適性 (アニマルウェルフェア)

- ・快適な環境での飼育
- ・ストレスを低減させる取組
- ・愛情を込めて飼育



社会よし

環境への配慮 (耕畜連携・温室効果ガスの削減)

- ・稲わら等自給飼料の活用
- ・家畜ふん堆肥の利用
- ・和牛子牛の県内確保



人よし

安全・安心

- ・美味しさ・高品質
- ・疾病の予防
- ・動物性医薬品の適正使用



農林水産大臣登録第56号

“三方よし”の「近江牛生産」の取組拡大、PRの推進

- ④ 家畜の快適性向上への取組推進の強化
 - ・消費者ニーズに対応した近江牛づくり(美味しさの追求)
 - ・耕畜連携の取組拡大推進
- ④ PR戦略の強化推進(ブランド力の向上)

生産性の向上と湖魚の需要拡大で夢のある産業へ

滋賀の水産業強靱化プラン

- R3
- R4
- R5
- R6**
- R7
- R8
- R9
- R10
- R11
- R12

儲かる漁業への
転換のための
基礎づくり

**水産業全体の
再興**

儲かる漁業の
展開

少数でも精鋭の
儲かる漁業

漁業担い手の確保・育成（再掲）

- 漁業研修制度の充実
- ICTによる漁労技術支援
- ⑨ 漁労資材取得の着業支援
- ⑩ 漁業団体の組織強化・機能充実



漁業研修

多様なニーズに応える流通改革

- ⑪ 漁獲物の規格、品質基準の統一化
- ⑫ 広域集荷・一元出荷体制の強化・拡充
- ⑬ セールス担当県職員による生産・流通・市場等の情報を紡ぐコンシェルジュ活動の展開



滋賀県漁連による首都圏での
展示商談会出席

琵琶湖の健全な循環に基づいた 水産資源の回復

- 種苗放流・外来魚駆除等による水産資源の増大
- ⑭ 「湖レコ」情報の活用による資源評価に基づく資源管理型漁業の推進
- ⑮ 琵琶湖の栄養塩環境の解明と改善策の検討



スマート水産業の推進

「滋賀の水産業強靱化プラン」推進研究

- 資源調査+湖レコ情報の活用による資源評価の精度向上
- 効率的な漁具・漁法、漁獲物の品質向上の研究



ひと 次代を担う若者等と農山村との絆の創出

【特】北部の農業・水産業に人が集うプロジェクト

【しがのふるさと応援隊事業】

- ◆ 関係人口の創出や、二拠点居住、移住・定住を進めるため、都市部の若年～中年へ農山村体験を提供

農山村版ワーキングホリデー

農家民宿体験 ワークショップ

農山村デュアルライフプログラム

テレワーク 半農半X

空き家活用

世界から選ばれる「しが」の農山村の実現

【しがの アグリツーリズムの推進】

- ◆ 農泊の推進体制を強化 (地域協議会の設立等を支援)
- ◆ 情報発信力を強化 (情報プラットフォームの整備)

農泊地域協議会

宿泊業 飲食業 交通業 観光業

旅行業 中核法人 金融業

農林水産業 小売業 (お土産等)

ホテル旅館 農業体験 生きもの観察会 魚のゆりかご水田

棚田保全 琵琶湖八珍

地域活性化・所得向上

デジタルプラットフォームの整備

社会 農山村でつながる協働活動をプロデュース

【しがのふるさと支え合いプロジェクト】

- ◆ 企業や大学、NPO法人等、多様な主体と集落が協定を締結して行う協働活動を支援

集落

企業 NPO等

大学等

● 作業を手伝って欲しい

● 地域を活性化したい

● 特産品を開発したい

● 持続可能な社会づくりに貢献したい

● 中山間地の農業を実践的に学びたい

中山間地域を活性化

持続可能な再生可能エネルギーを地産地消

【CO₂ネットゼロヴィレッジ創造推進パイロット事業】

- ◆ 再エネの地産地消の実施に向けた運営組織の設立と計画づくりを支援
- ◆ 再エネ設備導入の促進に向けた課題と対応策の検討

先行地域を後押して取組を拡大

農政水産部
耕地課(内3943)
農村振興課(内3960)

「人」「経済」「社会」「環境」の視点で農山村を「未来」へ引き継ぐ！

【予算額 6.6千万円】



「学ぶ」「食す」「訪れる」の3つの柱により「琵琶湖システム」を身近に感じてもらえる機会を拡大し、農業・水産業に関わる「人のすそ野」を拡大する

学ぶ 「琵琶湖システム」を学ぶ

- ④ 親子での農業・漁業体験、県産食材の調理・喫食
- フローティングスクール等との連携による学習教材の更なる活用
- 学校・企業・団体への出前講座の実施



食す 「琵琶湖システム」を食す

- 首都圏・京阪神の飲食店等での「滋賀の幸」メニューフェアの開催
- ④ 県産野菜・湖魚を活用した外食・中食の推進
- ④ 学校給食への湖魚メニューの提供
- ④ 魚のゆりかご水田米の販路拡大・普及



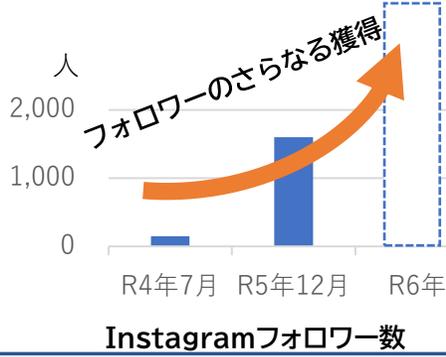
訪れる 「琵琶湖システム」を訪れる

- ④ 「琵琶湖システム」体験コンテンツの造成
- ④ 琵琶湖システムを支える地域と学校等の協働活動の促進
- アグリツーリズムの推進



発信する 「琵琶湖システム」の発信機能を強化

- ④ HPを活用した「学ぶ」「食す」「訪れる」アクションへの誘導
- ④ SNSによる魅力発信の強化



○ 生産者による情報発信の促進

生産者に対する情報発信スキルアップ研修

農政水産部
 農政課(内3811)
 みらいの農業振興課(内3831)
 水産課(内3872)
 農村振興課(内3961)

今年度から
2事業を実施予定

県経済の持続的な成長につながる産業の創出や中小企業の活性化に向けた支援を強化し、活力ある滋賀の実現を目指す

物価高に負けない賃上げ・人材確保、県内投資の促進 令和5年度
11月補正

- 賃上げ・人材確保に向けた環境整備の支援
- 生産性向上、新事業展開、人材育成等の未来を見据えた投資の支援

①新しい産業の創出や産業立地の推進

- 新 近未来技術 (AI、CO₂ ネットゼロ等) を通じたイノベーションの推進
- 新 市町と連携した産業用地開発
- 新 産業立地戦略における重点分野の産業立地を推進



②社会的課題の解決に資するビジネスやスタートアップ等の支援

- 新 学生との協働によるソーシャルビジネス創出
- 新 社会的課題解決に取り組む小規模事業者の支援
- 滋賀テックプランター等を通じたスタートアップの支援



③オープンイノベーションやDX・GXの推進

- 異業種・異分野の企業や大学等との交流・連携によるイノベーション創出
- 中小製造業の新技术開発やDX・GXによるモノづくりの支援



④海外展開や万博を契機とした取組の推進

- 新 県内企業の海外進出を見据えた新商品開発等を支援
- 新 インバウンド向け近江の地酒開発支援
- 新 万博を契機とした商工団体との連携による展示商談会やエキスカーションの実施



⑤中小企業の経営基盤強化等

- 制度融資を通じた資金繰り支援
- 事業承継ネットワークとの連携促進
- 新 県内中小企業の株式上場に向けた支援の強化
- 新 2024年問題に取り組む物流事業者への支援



⑥地場産業の強化

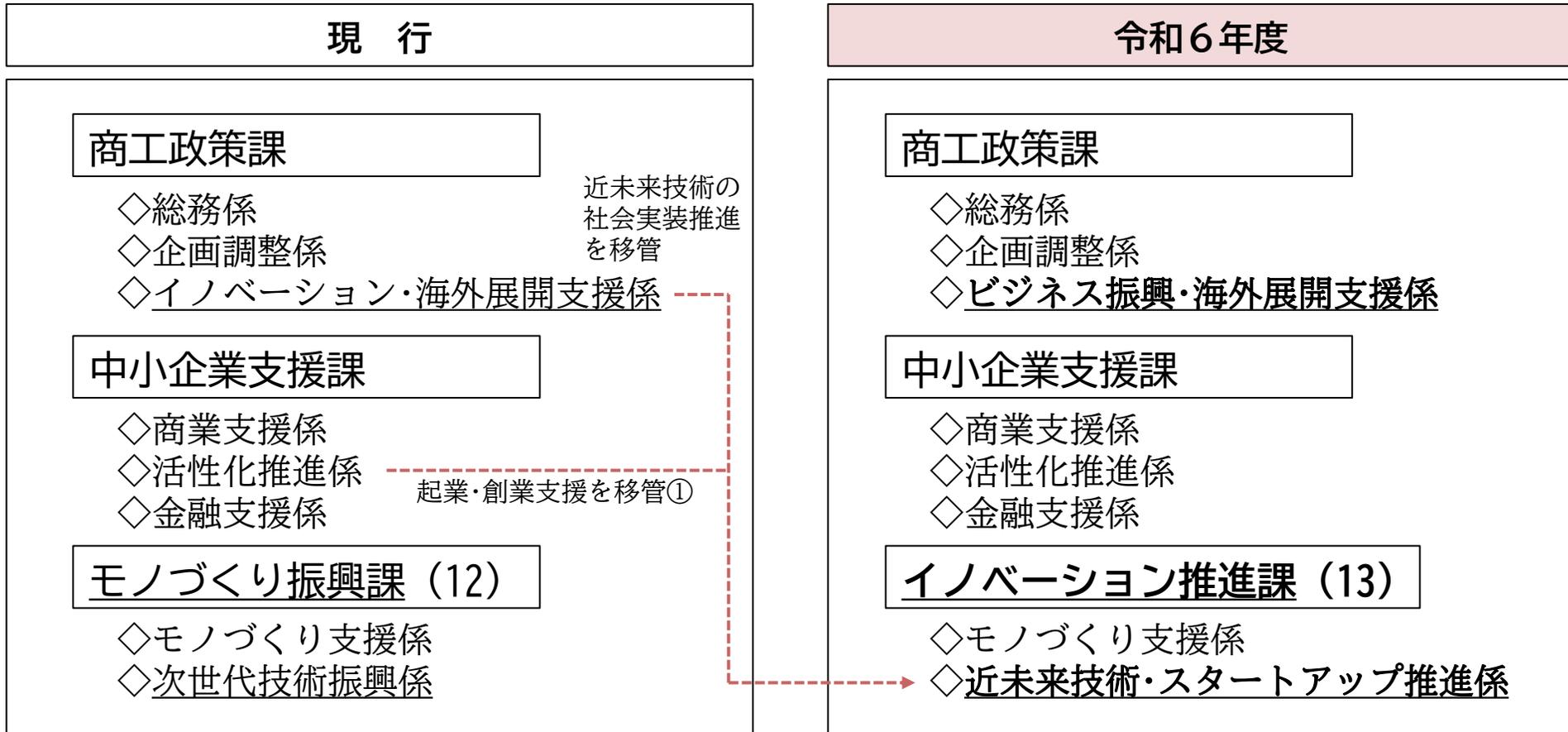
- 新 地場産業事業者の新たな流通ルート確立による販路開拓支援
- 新 地場産業のサステナビリティに関する取組による高付加価値化支援
- 地場産業事業者の生産性向上支援



商工観光労働部		
商工政策課	(内 3712)	産業立地推進室 (内 3792)
中小企業支援課	(内 3730)	モノづくり振興課 (内 3790)

モノづくり振興課を「イノベーション推進課」に改称 ▶ イノベーション推進体制の一元化 (商工観光労働部)

○技術革新による本県産業の成長力強化・高度化を図るため、モノづくり振興課を「イノベーション推進課」に改称の上、イノベーション推進に関する事業を集約し、製造業を中核とした多様な分野・業種によるイノベーションを一元的に推進する体制を整備します。



産業の創出と中小企業の活性化推進 中小企業活性化施策の更なる推進

【予算額1.4億円】



「滋賀県中小企業の活性化の推進に関する条例」を改正し、
中小企業活性化施策の更なる推進を図る

＜新条例に基づく中小企業活性化施策の基本＞（第8条）

- ① 中小企業の新たな挑戦、**地域社会の課題解決**の取組促進
- ② 中小企業の人材（ひとづくり）に関する取組促進
- ③ 中小企業の経営基盤の強化（**危機管理の向上**等）
- ④ 産業分野の特性に応じた中小企業の取組促進

＜条例改正の3つのポイント＞

地域社会の課題解決 産業を担うひとづくり 危機管理の向上

中小企業活性化推進基金の活用

部局	件数	基金活用額 (千円)
健康医療福祉部	1	1,000
商工観光労働部	27	135,813
農政水産部	1	763
土木交通部	1	3,000
教育委員会事務局	1	1,354
県警本部	2	1,128
合計	33	143,058

中小企業活性化推進基金を活用し部局連携で取り組む

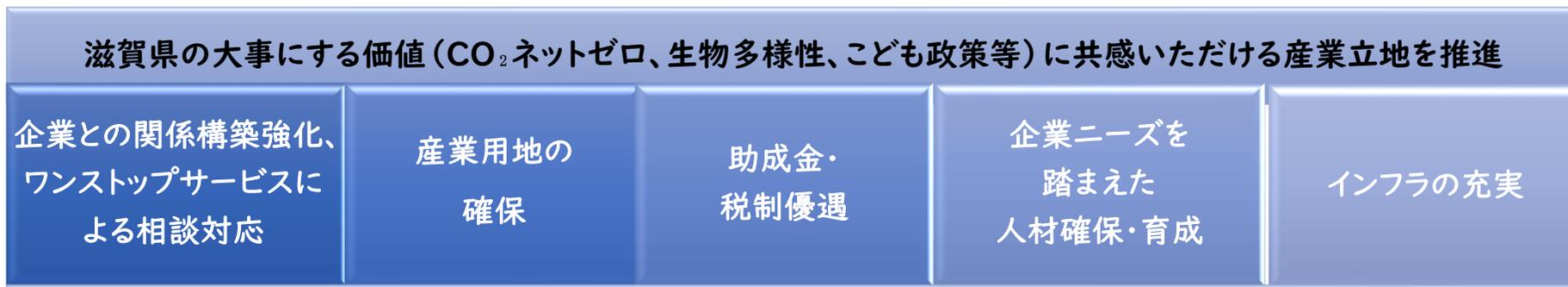


商工観光労働部
中小企業支援課（内3733）

産業の創出と中小企業の活性化推進 産業立地の推進

【予算額 6.6千万円】

滋賀県の大事にする価値に共感いただける産業立地を推進し、「世界から選ばれる滋賀」の実現を目指す



新 産業用地開発事業

【課題】
県内における産業用地の不足

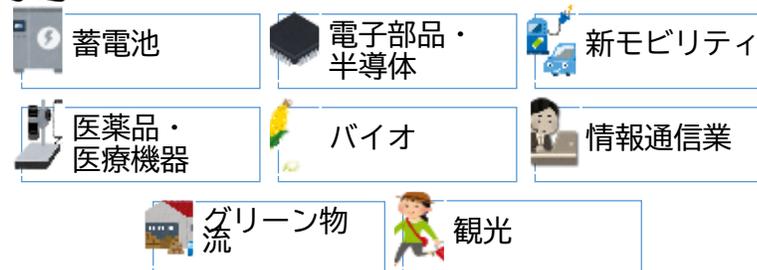


↓
市町との連携による新たな産業用地の開発



新 産業立地戦略推進助成金

【課題】
産業立地の地域間競争に資する支援制度
↓
重点的に立地を推進する産業分野の設備投資を
促進

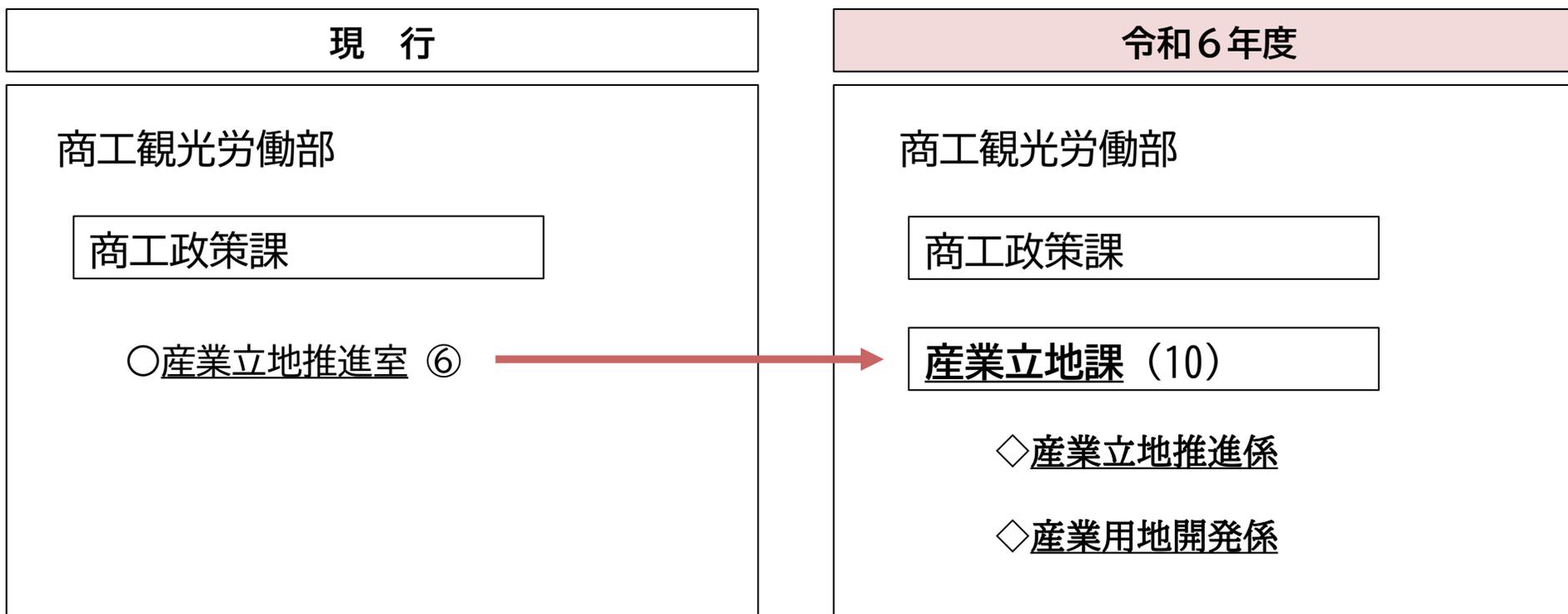


工業用水の利用支援

【課題】
新規引込管整備に多額の負担
↓
○新規引込管整備費用の支援
・工業用水受水企業支援制度
○**新**産業立地戦略推進助成金 (再掲)
○基本料金の軽減(3年間)

産業立地推進室を「産業立地課」に格上げ ▶ 産業立地推進体制の強化（商工観光労働部）

○企業ニーズに応じた新たな用地の確保、県内への設備投資の促進および雇用創出等を一体的に進めるため、産業立地推進室を課に格上げし、商工観光労働部に「産業立地課」を設置します。



万博等を見据え、「世界とつながる滋賀」を意識した観光誘客を促進

シガリズム～「まるごと滋賀体験」～

- シガリズム体験の創出、効果的な情報発信
- インバウンドに向けたプロモーション
- 大河ドラマを活用した魅力の発信



ビワイチ～世界から選ばれるサイクルツーリズムの展開～

- 「ビワイチの日、ビワイチ週間」等によるビワイチの魅力向上
- (新) ガイドツアー実施等による子どものビワイチ体験促進
- 国内外に向けた更なる魅力発信と交流の促進



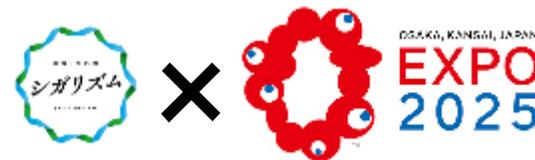
ここ滋賀～拠点機能の最大化～

- 観光コンシェルジュの設置等による滋賀への誘客機能強化
- 県内事業者の首都圏での販路拡大への支援
- (新) メディア誘致活動等による滋賀の魅力の発信



(新) シガリズム観光誘客キャンペーンの展開

- 万博や国スポ・障スポ大会に向けて、県全体での盛り上がりとおもてなし機運の醸成
 - ✓ シガリズム観光誘客キャンペーンPR
 - ✓ 滋賀ならではの魅力的なコンテンツの創出・発信
 - ✓ 万博向け旅行ツアーの造成
 - ✓ 宿泊・滞在期間延長促進の取組
 - ✓ 滋賀の文化観光推進
 - ✓ 広報・プロモーション 等

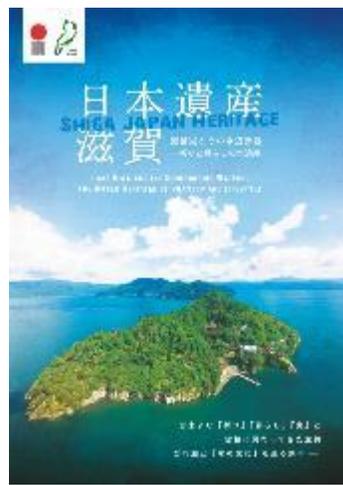


商工観光労働部
観光振興局 (内3741)
ここ滋賀 (03-6225-2951)

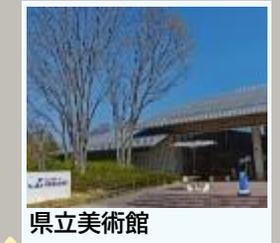
新 万博等を見据え、インバウンド向けに滋賀の魅力ある文化観光を推進

(事業概要)

- ① 日本遺産の文化財、食文化など体験・体感を中心としたインバウンド向けのツアーを造成
- ② 造成したツアーをインバウンド向けのサイトへ搭載、パンフレット等商材の制作
- ③ 滋賀の文化を体験、体感できる観光コンテンツのPR
- ④ インバウンド誘客支援(トッププロモーション&マーケティング)



■造成ツアールートイメージ



滋賀ならではのツーリズム「シガリズム」の推進 文化財の保存・活用推進

【予算額 11.3億円】

3 すべての人に
健康と福祉を

11 住み続けられる
まちづくりを

17 パートナースHIPで
目標を達成しよう

～文化財をきっかけとした**観光・地域振興**に!～

文化財保護課 (内4670)

文化財を守る

文化財の保存修理

- 文化財保存基金による保存修理への支援

県指定文化財の新指定

- 新指定に向けた調査



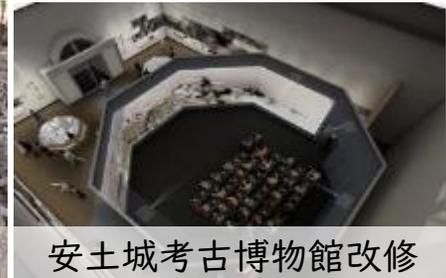
紙本金地著色檜図
(琵琶湖文化館蔵)



葛籠尾崎湖底遺跡
引き上げ土器



令和の大調査
天主台東面の調査状況



安土城考古博物館改修



西欧の書物に描かれた
安土セミナーヨ

文化財を活かす

「幻の安土城」復元プロジェクト事業

- 【実像解明】 令和の大調査の継続
- 【見える化】 見える化アプリ制作や安土城考古博物館第一期リニューアル
- 【機運醸成】 安土山図屏風や16・17世紀の西欧との文化交流に係る調査研究、セミナーの開催

「彦根城」世界遺産登録推進事業

- 事前評価制度への対応、機運醸成

「近江の城」魅力発信事業【北の近江振興】

- 出張！お城EXPOの開催

琵琶湖に眠る水中遺跡魅力発掘・発信事業

- シンポジウムの開催

文化財を支える

文化財を支える人づくり

- 保存継承を担う人の魅力発信
- 子どもを対象にしたイベント



文化財の保存・活用・発信拠点の整備

- 新・琵琶湖文化館の整備
- 埋蔵文化財センターの機能強化の検討



大津港にぎわいのある
にぎわいのある
にぎわいのある

大津港活性化・再整備基本構想の策定



現在の天津港
びわ湖疏水船
流域政策局河川・港湾室
(内線：4162)

海外でのトッププロモーションや、新たな友好交流に向けた取組、次世代交流をテーマとした姉妹友好提携州省との交流発展に取り組む

世界とつながる滋賀の推進 7,027千円

- ・米国等でのトッププロモーション
- ・オーストリア等からの訪問団受け入れや現地調整等
- ・庁内各部署が連携して海外展開



日米中西部会でのトッププロモーション (令和5年9月 東京)



オーストリア・ブルゲンラント州とは、「交流と協力に関する覚書」を交わしました(令和5年11月)

今後様々な分野で交流を進めます

姉妹友好提携州省との交流発展 7,175千円

- ・ミシガン州への友好親善使節団派遣(6年ぶり)
- ・湖南省・滋賀県誘客経済促進センター5周年記念事業
- ・リオ・グランデ・ド・スール州との友好提携45周年(2025年)に向けた新たな交流の検討



ミシガン州友好親善使節団来県 (令和5年10月)
(令和元年度以来4年ぶり)



日中高校生書道交流 (令和5年8月 湖南省長沙)

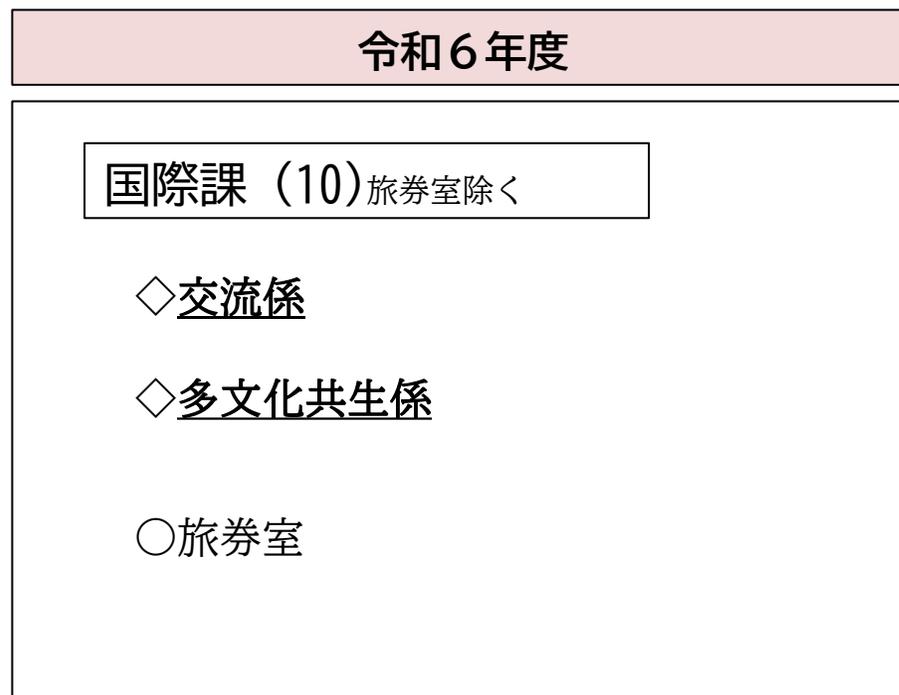
【参考】庁内各部署の海外展開(予定)

オーストリア・ブルゲンラント州との様々な分野での交流	庁内各所属
世界水フォーラムへの参加	琵琶湖保全再生課・下水道課
水環境分野における国際協力	下水道課
韓国と日本の淡水生物多様性の研究に関する交流	琵琶湖博物館
ベトナム・ホーチミン市との覚書に基づいた経済交流	商工政策課
ベトナムとの人材交流事業	労働雇用政策課
観光トッププロモーション	観光振興局
台湾での滋賀県フェアの開催	みらいの農業振興課
官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム～【拠点形成支援事業】 「未来を描け！滋賀の海外留学応援プログラム」	教育委員会 高校教育課

国際課に「交流係」「多文化共生係」を設置

▶ 国際交流・多文化共生社会実現への対応力強化 (総合企画部)

○トッププロモーションや姉妹友好州省との交流発展、さらに新たな友好交流に向けた取組など「世界と繋がる滋賀」を着実に進めていくとともに、今後ますます外国人県民の増加が見込まれる中、多文化共生社会に向けた取組を進めるため、国際課に新たに「交流係」および「多文化共生係」を設置し、体制を強化します。



地域や経済の成長につながるCO₂ ネットゼロ社会の実現を目指す

温室効果ガス排出量の削減

① CO₂ ネットゼロにつながる 快適なライフスタイルへの転換

- ・家庭への省エネ・再エネ設備導入支援
- ・次世代自動車導入支援
- etc



5.7億円

⑧ 県における率先実施

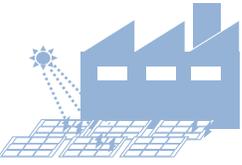
- 新 県施設の照明LED化
- 新 県施設へのEV用充電器導入調査
- ・公用車へのEV車等導入
- etc



18.0億円

② 自然環境と調和するCO₂を排出しない地域づくり

- ・事業所への省エネ・再エネ設備導入支援
- 新 地域と調和する再エネ導入促進に向けた検討
- ・オーガニック農業推進 etc



41.0億円

⑤ 革新的なイノベーションの創出

- ・水素モビリティ試験運用の実証
- 新 水素サプライチェーン構築に向けた検討
- ・CO₂ ネットゼロに資する技術の社会実装に向けた実証への支援
- 新 近未来技術等関連産業の可能性調査 etc



1.6億円

⑦ 気候変動への適応

- ・気候変動による琵琶湖の環境への影響調査
- ・高温に強い米(きらみずき)の生産拡大 etc



2.5億円

⑥ CO₂ ネットゼロ社会に向けたムーブメントの創出

- 新 次世代リポーターによる取組発信
- ・県立高校における研究取組等の推進
- ・ネットゼロフォーラムにおける連携取組の推進 etc



1.2億円

地域・産業の持続的な発展

③ 新たな価値を生み出し 競争力のある産業の創出

- ・中小企業のCO₂ 排出量削減の取組や技術開発支援
- etc

1.1億円

④ 資源の地域内循環 による地域の活性化

- ・下水汚泥の燃料化
- ・農村地域の再エネの導入・活用支援
- ・畜産分野の地域内飼料活用推進
- 新 バイオマスエネルギー利用推進の検討
- etc



38.6億円

デジタル社会の形成を推進し、
暮らしをより豊かにする新たな価値創造の実現を目指す

【予算額 32.7億円】

総合企画部
DX推進課 (内3388)

116事業

🏠 暮らしのDX 【予算額 5.8億円】

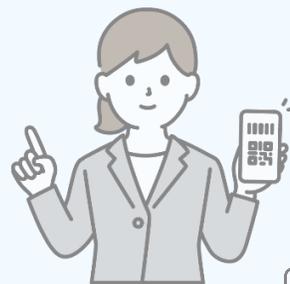
全ての県民が健康で快適な暮らしと、
環境に配慮した豊かな生活を実感



- 新 保健所での健康相談や要支援者対応等の管理をシステム化し、よりきめ細かい支援を実現
- 県立高等学校入学者選抜のWeb出願システムを導入 など

🏢 行政のDX 【予算額 6.3億円】

時間や場所を問わないワンストップで
県民本位の行政サービスの実現



- 新 窓口のキャッシュレス決済導入による県民利便性向上
- 新 電子契約導入による契約締結の迅速化、コスト削減による業務効率化、事業者の負担軽減 など

🏭 産業のDX 【予算額 13.2億円】

高付加価値化や省力化、生産性・安全性の
向上による持続可能な産業の実現



- 施設環境のモニタリングやリモートセンシング（遠隔計測）データを活用した農業の支援
- 企業人材のDXスキル強化支援 など

⚙️ 基盤づくり 【予算額 7.4億円】 ひとづくり

誰もが利用できる、参加できる環境の整備
とデジタル人材の育成・活躍

- デジタル技術を活用し、業務効率化・行政サービスの向上を図ることのできる人材の育成 など



柱⑤ 自然環境や生物多様性の保全・再生

自然と社会の健全な循環を目指すマザーレイクゴールズ(MLGs)の考えに基づき、琵琶湖やそれを取り巻く環境を守り、自然と人が共生する社会に向けて取組を進める。

取組

自然再興(ネイチャーポジティブ)の推進

循環経済(サーキュラーエコノミー)の推進

環境学習の推進とMLGsの発信

世界の湖沼環境保全などへの貢献

やまの健康2.0の推進



Mother Lake
Goals

変えよう、あなたと私から



自然再興（ネイチャーポジティブ）の推進 生物多様性の保全・再生



自然と人との共生する社会の実現に向かう入り口にあることを実感できる状態に向けて、質と量の両面からみんなで取り組む



生物多様性しが戦略2024 ~自然・人・社会の三方よし~

短期目標（2030年）ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現

「保全」

- 3つの多様性（生態系・種・遺伝子）の保全

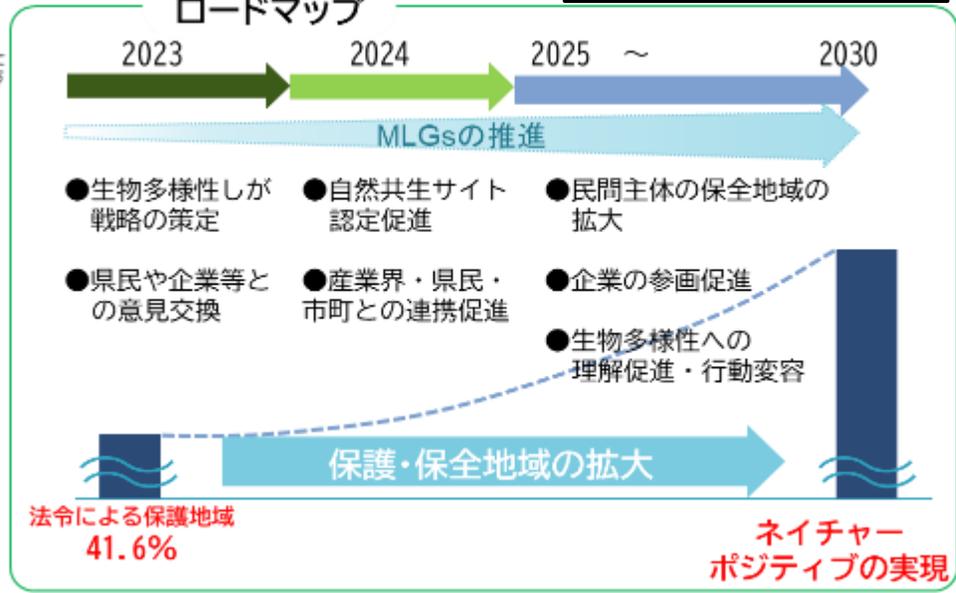
「活用」

- 自然を守り、活かすことによる社会課題の解決、社会経済活動の推進

「行動」

- 身近な生物多様性への気づき、共生社会の実現に向けた土壌づくり

【予算額 0.5千万円】 琵琶湖環境部 自然環境保全課（内3483）



新「生物多様性しが戦略2024」の推進に向けた2024年度の取組

戦略における状態目標（抜粋）	行動目標	2024年度の取組
【保全】 目標①~⑤ ③多様な主体による保全	目標①~⑦ ④担い手確保	自然共生サイト認定促進 対象候補調査、セミナーの開催・専門家派遣等の伴走支援
【活用】 目標①~⑥ ⑤自然資本と経済活動	目標①~⑥ ⑤循環経済等の取組推進	産業界との連携促進 ・生物多様性取組認証制度の見直し・認証 ・経済的インセンティブの検討
【行動】 目標①~④ ④多様な主体による調査・活動	目標①~⑤ ④多様な主体の取組 ⑤市町との連携	地域との連携促進 ・生物多様性情報の収集、地域との共有の試行 ・市町における地域戦略策定等の取組推進

自然再興（ネイチャーポジティブ）の推進 伊吹山の保全



多様な草花や生きものでにぎわい、多くの人を訪れる伊吹山を取り戻すことを目指し、
南側斜面の復旧やお花畑の保全等に向けた取組を推進する

【予算額 1.3億円】

琵琶湖環境部	①②④⑨⑩：自然環境保全課(内3480)	⑥⑦：鳥獣対策室(内3489)
	③：森林保全課(内3932)	
土木交通部	⑤：道路保全課(内4133)	⑧：砂防課(内4194)

南側斜面の復旧対策

南側斜面の中長期的な復旧対策を推進

- ①ロードマップの策定
南側斜面復旧に向けたロードマップを県・米原市が共同して策定
- ②植生復元対策
植生復元に係る調査・設計
【参考】R5年9月・11月補正予算
- ③治山対策
治山事業実施に向けた調査、米原市が行う治山対策への補助
- ④登山道の復旧・⑤維持管理
表登山道の復旧工事・維持管理

ニホンジカ捕獲対策

植生の衰退や裸地化をもたらしているニホンジカの捕獲を推進

- ⑥高標高域における調査・捕獲
捕獲条件が厳しい高標高域でのニホンジカの調査・捕獲
- ⑦市の捕獲事業への支援
米原市が行うニホンジカ捕獲への補助



2007.6 南側斜面 2023.7

その他の対策

地域の防災対策や山頂お花畑の保全対策等を推進

- ⑧勝山谷川砂防堰堤整備事業
下流の人家や避難場所を保全する砂防堰堤の整備
- ⑨市の植生防護対策への支援
米原市が行う山頂お花畑での植生防護柵設置への補助
【参考】R5年11月補正予算
- ⑩山頂公衆便所修繕
山頂お花畑の観光客・登山者が利用する公衆便所の修繕

生物多様性の
象徴となる
伊吹山へ

多様な草花や
生きものが
にぎわう山

登山者の
安全確保

県北部地域の
振興



2008.8
山頂お花畑

循環経済（サーキュラーエコノミー）の推進



環境負荷の低減・資源の循環的な利用を図りつつ、付加価値の最大化を行うサーキュラーエコノミー（循環経済）への移行を図る

【予算額 35.5億円】

1 循環社会推進課	(内3472)
2 環境政策課	(内3354)
3 循環社会推進課	(内3472)
4 モノづくり振興課	(内3794)
5 下水道課	(内4213)

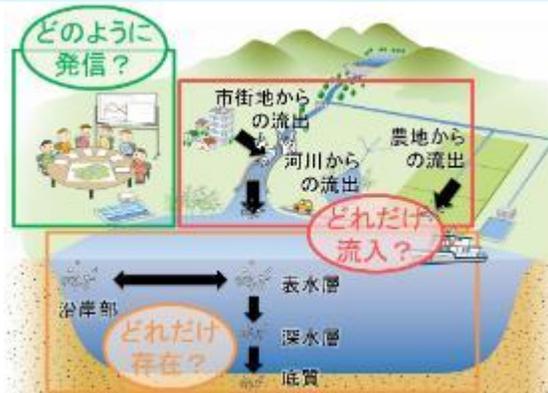
1 「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」の推進

- ・「しがプラチャレンジの日」、「推進月間」を通じたプラごみ削減の実践取組の支援
- ・製造者と連携したサーキュラーエコノミー啓発イベントの実施
- ・サーキュラーエコノミーセミナーの開催
- ・子ども向けのわかりやすい啓発



2 プラスチックごみの実態把握等に関する調査研究

- ・陸域や河川、湖内におけるプラスチックごみの実態把握とモデル解析
- ・生態系への影響等に関する科学的知見の収集・整理
- ・人々の意識変容を促すための科学的な情報発信に関する研究 (R5から3年間)



3 先駆的取組への支援

- ・プラごみ、食品ロス削減等の先駆的取組の表彰
- ・企業・団体等の先駆的取組への財政的支援



4 生分解性プラスチック開発

- ① 評価環境の整備と材料開発支援
 - ・生分解性の評価が行える機器の整備
 - ・改質と合成による適切な生分解性プラスチックの開発
- ② 企業技術者の育成
 - ・啓発セミナーの開催

5 下水汚泥の有効活用

湖南中部浄化センター燃料化事業

- ・メタン発酵、固形燃料化
- ・R4～R8設計・建設、R8供用開始

高島浄化センターコンポスト化事業

- ・微生物で有機物分解、肥料生成
- ・R5施設完成、供用開始
- ・R6肥料販売開始

新技術の研究

- ・リン抽出等の技術研究
- ・R4基礎研究、R5具体研究、R6全体プロセス妥当性評価



環境学習の推進とMLGsの発信



様々な環境問題を学ぶ場や機会をつくとともに、マザーレイクゴールズをさらに推進する

【予算額 2.4億円】

学びの場や機会づくり



MLGsの更なる推進

①「びわ湖の日」活動推進

若者との協働による情報発信や環境啓発、「琵琶湖ハンドブック」の改訂等

②自然体験を通じた環境学習推進

活動者等を対象とした自然体験プログラムの実践型講座や自然体験イベントの開催

③デジタルミュージアムの推進

琵琶湖博物館の資料・標本をデジタル化し、HPで公開するとともに展示に活用

④下水道を入口とした環境学習推進

淡海環境プラザ(草津市)で、水環境をはじめとした多様な環境が学べるツアーの実施等

⑤木育の推進・木育拠点施設の整備



⑥ワークショップ等の実施



⑦新「SDGs Week EXPO」への出展

国内最大級のSDGsイベントにおいてMLGsを発信

⑧新 こども向けコンテンツの充実

小中学生向けのMLGs学習動画を新たに作成

⑨新 グッドデザイン賞への応募

⑩MLGsみんなのBIWAKO会議の開催

様々な関係者が琵琶湖と流域の自然環境や暮らしの状況について話し合い、「MLGsの達成状況の評価」と「今後の取り組み」について認識の共有を図る



琵琶湖環境部
①②環境政策課(内3453) ③環境政策課(内3350)
④下水道課(内4213) ⑤びわ湖材流通推進課(内3920)
⑥～⑩琵琶湖保全再生課(内3461)

【予算額 1.1千万円】

琵琶湖の環境保全を通じて培った経験や技術を活かし、世界の湖沼・水環境の保全に貢献する

「世界湖沼デー」制定等に向けた戦略的な発信

①世界水フォーラムでの「世界湖沼デー」を含む湖沼問題の主流化への呼びかけ

新 第10回世界水フォーラム(令和6年5月インドネシア・バリ)における湖沼問題主流化に向けた発信

✓分科会での湖沼セッション等で国や地域、国際機関、庁内関係課と連携し湖沼の重要性と湖沼保全の取組を発信

✓日本パビリオンでのブース出展
県内企業も参加して琵琶湖の総合保全の取組等(MLGs)から湖沼の重要性を発信



✓国連への「世界湖沼デー」提案に向け、インドネシア政府(水フォーラム主催国)への働きかけ

②湖沼問題の解決に向けた機運の醸成と国際連携の推進

新 姉妹友好州省をはじめとした海外の国や地域、国際機関との連携

✓湖沼を有する国内外の地域や国際機関との連携推進および機運醸成



水環境分野における国際協力

③世界の水環境保全に向けた国際協力の推進

JICA事業を中心に滋賀県の琵琶湖保全のノウハウを活かした協力を実施

✓ベトナムでの新規事業により関係をさらに発展

✓水環境問題を抱える地域における新規プロジェクトの開拓や協力・支援



琵琶湖環境部

①②琵琶湖保全再生課 (内3461)

①③下水道課 (内4213)

森林の適正管理、林業の成長産業化、農山村の活性化が一体となった取組を進めるとともに、県産材利用促進条例をふまえ、やまの資源をフル活用した、環境と経済が両立する滋賀らしいグリーン成長の実現を目指す

琵琶湖環境部
森林政策課 (内3910)
びわ湖材流通推進課 (内3920)
森林保全課 (内3930)

森林の適正管理



森林の価値の見える化

○**新** 関西広域連合と連携した「森林の価値」の研究

「新しい林業」構築モデル事業

- 花粉発生源対策を踏まえた主伐・再造林 (※一部R5補正予算対応)
- 新** 気象データと航空レーザ解析データを用いたゾーニングによる主伐重点地区の検討
- 少花粉苗木増産と再造林による発生源抑制対策
- ICT林業
- 新** 林業機械メーカー連携による先端技術を活用した主伐・再造林
- 新** 川上から川中までのリアルタイムでの素材生産情報の共有化
- 新たな森林管理の構築
- 新** 長期的視点で山づくりを行うための信託制度の導入
- 重点的な人材育成
- 主伐・再造林におけた一貫作業システムの確立とICT林業に対応した従事者の育成



ドローンによる資材運搬



少花粉苗木



ICTハーベスタ

林業の成長産業化

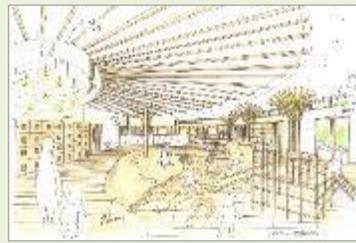


建築物の木造化・木質化

- 琵琶湖森林づくり県民税の1%を活用して木質化100%へ(県が整備する建築物)
- 木造建築セミナーの開催、**新** 木造建築物事例集の作成(民間等が整備する建築物)



木造化・木質化例



木育拠点施設イメージ

木育拠点施設整備 ※近江富士花緑公園の魅力向上

○木とふれあうことにより自然とのつながりを学び、豊かな心を育む木育を推進

農山村の活性化



集中的な取組① 県北部地域の振興

県北部で先行的に地域資源を活かした魅力ある地域づくりや、
未来を支える人材の育成などを推進



令和6年度 県北部地域の振興に係る取組

北の近江振興プロジェクト

<目標>
移住+地域とつながる人(関係人口)を3千人増やす



地域資源や特性を活かして、5年間(R5~9年度)を重点取組期間とする振興策

①住み続けたくなくなる還りたくなくなる北部へ

- ・健やかな暮らしの実現
- ・女性が活躍する社会づくり
- ・地域資源を活かした魅力ある地域づくり



②挑戦する若者が育ち・集う北部へ

- ・地域経済活性化のための人材の確保
- ・未来を支える人材の育成

③訪れたくなくなる北部へ

- ・首都圏・京阪神から北部への移住・誘客促進
- ・地域観光資源の更なる活用
- ・滋賀の魅力や技術を北部から発信



各分野の課題に対応する北部振興の取組

継続的な取組のほか、シンボリックな課題や、中長期を見据え取り組むべき課題への対応など

❖伊吹山の保全

- ・南側斜面の復旧に向けた中長期的な対策

❖余呉地域振興

- ・丹生ダム中止に伴う国や市と連携した余呉地域振興事業の推進

❖交通インフラの整備

- ・地域の課題・実情に応じた道路整備や移動手段となる地域交通の維持・活性化

❖湖北圏域の病院再編

- ・持続可能な医療提供体制の確保
(一部北の近江振興プロジェクト)

❖産業立地の推進

- ・地域の活性化や雇用の創出を促す産業立地の推進



令和6年度北の近江振興プロジェクト

総合企画部
新駅問題対策・特定プロジェクト推進室
(北の近江振興事務所：0749-53-2801)

【予算額 2.4億円】

①住み続けたくなる還りたくなる北部へ

総合プロジェクト：県が取組を展開

◆健やかな暮らしの実現

→医療的ケア児・者の受入体制整備のモデル構築
【障害福祉課(内3544)：19,200千円】

◆女性が活躍する社会づくり

→女性活躍の就労、キャリアアップ支援
【女性活躍推進課(内3772)：3,585千円】

◆地域資源を活かした魅力ある地域づくり

→ライフスタイルに応じた農山村体験プログラムの提供
【農村振興課(内3960)：7,000千円】

など

5事業 32,358千円



②挑戦する若者が育ち・集う北部へ

◆地域経済活性化のための人材の確保

→事業承継のニーズに応える特任相談員の配置
【中小企業支援課(内3733)：15,000千円】

◆未来を支える人材の育成

→土地利用型モデル・「みおしずく」等の園芸産地の育成
【みらいの農業振興課(内3847)：19,851千円】
→高校での地域課題への取組を通じた人材育成
【高校教育課(内4578)：12,890千円】

など

5事業 58,572千円



③訪れたくなる北部へ

◆首都圏・京阪神から北部への移住・誘客促進

→首都圏での関係人口構築による観光誘客や移住等の促進
【東京本部(03-5212-9107)・ここ滋賀(03-6225-2951)：13,658千円】

◆地域観光資源の更なる活用

→古典芸能(邦楽)の振興と若手演奏家の養成
【文化芸術振興課(内3341)：3,000千円】

◆滋賀の魅力や技術を北部から発信

→地場産業・伝統的工芸品の魅力発信拠点の試行的設置
【モノづくり振興課(内3791)：9,000千円】

など

9事業 93,379千円



特別プロジェクト：相乗効果が期待できる市の取組を支援

北の近江振興プロジェクト推進補助金【市町振興課：50,000千円】

多様な主体との連携・協働

北の近江振興事業費(クラウドファンディングを活用した新規事業への支援など)
【北の近江振興事務所：9,116千円】



北の近江振興
プロジェクト

北陸新幹線敦賀駅開業を活かした県北部地域の振興

北陸新幹線敦賀駅



◆「ビワイチ」、「わかさいくる」の連携強化
観光振興局(内3746)

◆森林山村地域の活性化
・森林山村資源の魅力発掘・発信
森林政策課(内3918)

◆北陸デスティネーションキャンペーンに合わせたイベントの実施
・「出張!お城エキスポ」の開催
文化財保護課(内4680)

◆国際会議等の開催誘致
・MICE開催のための支援
観光振興局(内3743)

◆地域イベントへの誘客促進
・湖西線開通50周年記念列車の運行
・地域開催イベントへの支援等
・北陸新幹線における北部魅力発信への支援
交通戦略課(内3684)・観光振興局(内3743)

◆JRや北部3市と連携した情報発信
・湖西線利用促進プロモーション
・米原駅での広域周遊観光情報の発信
・北陸新幹線停車駅でのPR
交通戦略課(内3684)

◆地域資源の魅力発信
・日本遺産の観光プロモーション
・コーディネーターによる魅力発信の企画・立案
・琵琶湖北部の水中遺跡の魅力発信
観光振興局(内3743)・市町振興課(内3230)・文化財保護課(内4674)

集中的な取組②

大阪・関西万博やわたSHIGA輝く国スポ・障スポ
開催への着実な取組の推進とレガシーの創出



©Expo 2025



湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ 2025
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

大阪・関西万博やわたSHIGA輝く国スポ・障スポの開催への着実な推進とレガシーの創出

着実な準備とともに、大規模イベントで生まれる価値やつながりを未来に生かす取組を推進

開催に向けた機運醸成と着実な準備



関西広域連合での取組と「万博しが」によるオール滋賀での取組との相乗効果で準備を加速。

©Expo 2025
2025.4.13～10.13

多様な関わりと協力を得て更なる機運醸成とハード・ソフト両面での着実な準備。
“いよいよ1年前”のワクワクと盛り上げを。

2025.9.28～10.27

準備の加速

滋賀の未来に向かってレガシー創出

ともにいきる滋賀

わくわく楽しい滋賀

- 滋賀の魅力向上、発信を通じた誘客体験や文化、食を生かした魅力発信
- 万博を契機とした新商品開発
- 滋賀への移住促進

“出会い”生まれる
“出会い”つながる

- 共生社会づくり実現に向けた取組
- 企業・団体等との共創の広がり
- ボランティア文化のさらなる醸成

ひとままちも健康と活力の滋賀

- 開催競技の地域シンボルスポーツ化
- スポーツ施設を活用した健康づくり・地域活性化
- 誰もがスポーツに親しむ環境の充実

夢と希望を描ける滋賀

- アスリートを目指せる育成の場、機会の充実
- 将来の夢を抱ける未来技術やスポーツとの出会い創出
- 大会等における環境配慮の実践の横展開
- “水”でつながる取組や共感の広がり
- 未来社会に向けた新しい仕組みづくりへのチャレンジ

令和6年度は
両輪で進める！

レガシー創出

大阪・関西万博に向けた滋賀県の取組



① 関西パビリオンへの参加

- 滋賀県ブース(仮称)
「Mother Lake アドベンチャー」
- 多目的エリアでの催事
「滋賀県ウィーク(仮称)」

会場での取組



画像提供: 2025年日本国際博覧会協会

② 会場内催事

- 自治体参加催事
「滋賀県デイ(仮称)」

③ 観光誘客

- 魅力的なツアー造成 & 広報



④ 子どもの参画

- 子どもを万博へ招待
&
子どもと万博の関わり



⑤ 県内催事

- 万博テーマと関連した各種イベント等の展開

<取組例>

- お祭り等の各種イベント
- 展示会、商談会、見本市
- 万博テーマに関連する企画展示
- 新商品、新サービス開発
- 会議 (シンポジウム、フォーラム等)

・滋賀県万博特設サイトを作成
・イベントカレンダーで情報発信
・会場内外 (WEB/交通広告等) で周知

県内での取組

⑥ 推進組織

- 推進会議「万博しが」の設置・運営



滋賀県ブース(仮称) 出展

展示コンセプト:

「Mother Lake ~びわ湖とともに脈々と~」を体験する

Mother Lake アドベンチャー

- 出展の準備
- ◆ コンテンツの制作
- ◆ 展示の施工
- ◆ 運営の準備
- ◆ レガシーの検討

R6

催事等の制作・運営

プレイベントの開催

- 時期 令和6年秋(万博会期の半年前)
- 滋賀県デイ・ウィークの準備
- 滋賀県版EXPOミュージアムの準備
- 情報発信と県内の機運醸成
- 子ども参画プロジェクトの準備・実施

子どもの招待

- 招待の準備
 - ◆ 教育旅行の調査・計画
 - ◆ 個人申込の受付開始
 - ◆ バス・チケット等の手配、準備
 - ◆ 県主催ツアーの計画



メインショー「滋賀フィールド体験」

滋賀の魅力を見つけ出し、自分だけの「滋賀コレクション」を完成!



- 出展・運営 および 撤去

R7
開催

滋賀県デイ(仮称)

- 時期 夏休み期間中の1日間(予定)
- 会場 EXPOホール(予定) 約2,000席

滋賀県ウィーク(仮称)

- 概要 ブース出展を中心に県内事業者、団体等の出展機会を確保
- 会期 2週間(1週間×2回)(関西パビリオンの多目的エリアを利用)

滋賀県版EXPOミュージアム(仮称)

- 方針 滋賀県全体をミュージアムに見立てて県内で実施
- 概要 万博のテーマと関連した県内イベントの展開・発信

企業・団体
等との共創
による実施

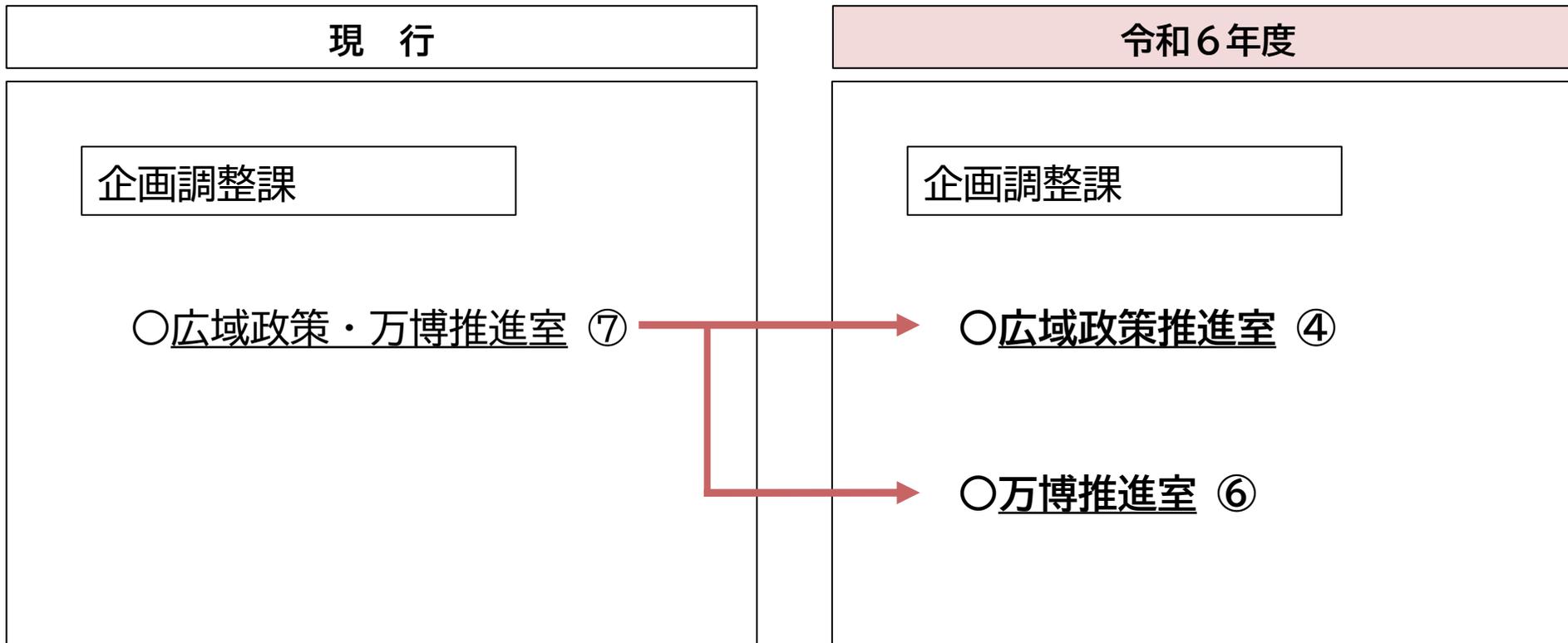
会場への招待

- 対象者 満4歳~高校生
- 概要 教育旅行または個人・家庭で(県主催バスツアーでも参加可能)
1人1回は入場料無料(県が負担)で会場へ招待

【目標】 滋賀の認知度向上、観光客の増加、企業・製品のマッチング、移住の促進、滋賀の魅力の再発見

➡ さらに、展示に使用したコンテンツの会期後の観光・教育分野への活用など、レガシーの創出に向けて検討

- 令和7年度の大阪・関西万博の開催に向け、各種取組を着実に推進するため、総合企画部に「万博推進室」を設置します。
- 併せて、広域政策・万博推進室を「広域政策推進室」に改称し、引き続き、広域的な視点からの政策立案・政策調整を担います。



わたSHIGA輝く国スポ・障スポの開催への着実な推進とレガシーの創出

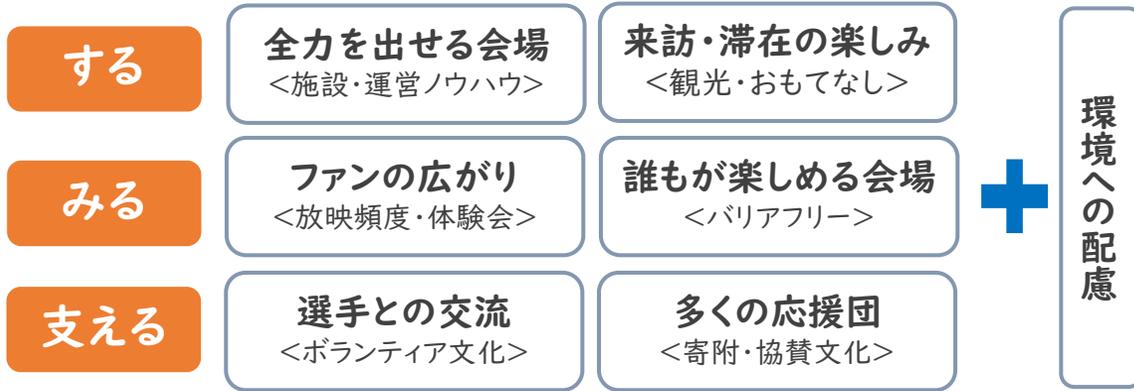
【予算額 54.4億円】

3 すべての人に健康と福祉を
06 環境と気候
13 つの分野によって目標を達成しよう

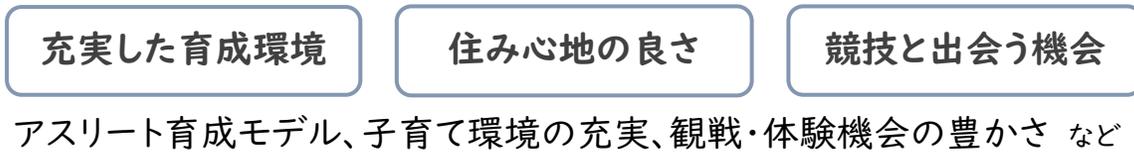
文化スポーツ部
国スポ・障スポ大会局
(内3321)

両大会に向けた着実な準備を進めるとともに、両大会を契機に、本県の魅力発信や観光振興を図る。大会で活躍した選手が指導者となる好循環や、大規模大会開催ノウハウの継承、環境負荷軽減に向けた実践、シンボルスポーツの定着、ユニバーサルデザインへの配慮など、サステナブルで健康な共生社会を目指す。

目指せ！ 滋賀らしいスポーツイベントのモデル構築



目指せ！ 滋賀らしいアスリート養成システムの構築



スポーツで滋賀を元気に！

健康しが・自分らしさに向けた
「こころとからだの健康」と「元気なしが」の実現

R7 両大会開催



R6 開催に向けた着実な準備

- ・選手の育成、競技力向上
- ・競技会場の整備・改修
- ・●●日前イベント開催
- ・MLGs宣言の実践
- ・競技運営体制の整備
- ・来県者おもてなし企画
- ・滋賀らしい大会運営
- ・ユニバーサルデザインの浸透
- ・万博との相乗効果 など

さらなる
機運醸成

レガシー創出
に向けた
本部会議
の設置

両大会での実践取組

つながり
共創・共生

選手との交流機会、ボランティア文化の浸透、多様な参画者・来場者 など

CO2削減
地球に貢献

省エネの推進、廃棄物・食品ロスの削減、公共交通利用、エコカー利用の促進 など

地域資源
活用・体験

びわ湖の恵み(食事・土産)、県産品を用いた設備・物品、シガリズムの体験 など

国スポ大会・障スポ大会のレガシーとしての共生社会づくり



令和7年(2025年)国スポ・障スポ大会開催を見据え、共生社会の実現に向けた重点的な取り組みを進める

【予算額 3.0千万円】

Plan

- ・滋賀県手話をはじめとする障害の特性に応じた言語その他の手段による意思疎通等の促進に関する条例の制定 (R5)
- ・淡海ユニバーサルデザイン行動指針の改定 (R5)

Do

- ⑧ 障害者ICTセンターの機能強化
- ⑨ 意思疎通等促進条例制定にともなう周知および手話に関する啓発
- ⑩ ICTを利用したスポーツ観戦事業



Check

- ⑪ 県内観光施設等のバリアフリー調査
- ⑫ ICTスポーツ観戦のアンケート調査

調査と改良を連携



Action

- ・合理的配慮の提供に係る助成金
- ・国スポ・障スポにおける情報保障の充実

国スポ・障スポ大会のレガシー = 共生社会



健康医療福祉部
健康福祉政策課 (内3512)
障害福祉課 (内3540)

組織について

組織・職員定数に関すること
総務部人事課（内3154）

○ 知事部局本庁の組織数

令和5年度 10部局等 6局 60課 55室



令和6年度 11部局等 5局 64課 52室

※部局等：知事公室、部、会計管理局

【増減内訳】

- ・部 +1 子ども若者部
- ・局 △1 子ども・青少年局
- ・課 +6 高等教育振興課、子ども若者政策・私学振興課、子どもの育ち学び支援課
子育て支援課、子ども家庭支援課、産業立地課
△2 私学・県立大学振興課、砂防課
- ・室 +3 万博推進室、行幸啓室、砂防室
△6 ワクチン接種推進室、健康しが企画室、子ども未来戦略室
子育て支援室、家庭支援推進室、産業立地推進室

職員定数について

令和6年度は、開催前年度となる国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備、児童虐待防止対策を含む子ども施策の推進、産業立地の推進など、県政の重要課題に的確に対応していく必要があります。

引き続き、不断の取組として、事務事業の見直しや業務の効率化、部局間および所属間のリバランス等の徹底による減員を図りつつも、重点施策を着実に推進できるよう、知事部局全体で56人の増員を行う改正条例案を県議会令和6年2月定例会議に提案します。

(知事部局)

令和5年度：3,407人 → 令和6年度：3,463人 (+56人)

また、本県警察が社会情勢の変化や犯罪の悪質巧妙化等に的確に対応していくため、県単独措置による警察官定員の増員を行う改正条例案を同じく2月定例会議に提案します。

(警察本部：警察官)

令和5年度：2,302人 → 令和6年度：2,312人 (+10人)

■ 主な増員要素（知事部局）

- 子ども施策推進体制の強化 + 35人
 - ・ 子ども若者部の設置 + 14人
 - ・ 子ども家庭相談センター体制強化 + 15人
（日野子ども家庭相談センターの設置）
 - ・ 近江学園新設(再整備)に伴うケア体制整備 + 6人
- 国スポ・障スポ大会開催準備 + 22人
- 産業立地推進体制の強化 + 4人
- 大阪・関西万博に係る取組推進 + 3人

■ 主な増員要素（警察本部）

- 警察官の増員 + 10人
 - ・ 国スポ・障スポ大会の警衛体制の強化

(参考) 教育委員会

		令和5年度	令和6年度
① 教育委員会事務局	+9人	(191人)	→ 200人)
② その他教育機関 および県立学校	+37人	(3,821人)	→ 3,858人)

(参考) 小・中学校、警察本部

		令和5年度	令和6年度
① 小・中学校の教職員	△9人	(8,595人)	→ 8,586人)
② 警察官	+10人	(2,302人)	→ 2,312人)
警察官以外の警察職員	±0人	(307人)	→ 307人)